

FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700

BMCユーザーズガイド

はじめに

本書はFUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700のBMC(Baseboard Management Controller)の操作 方法を説明します。 BMCは本装置を管理・制御する機能を提供します。

本書の構成と内容

本書は、以下の章から構成されています。

第1章 Web GUIを使用するための環境と設定

BMCをWeb上で操作する環境を説明しています。

第2章 Web GUIの基本操作と動作

BMCを操作するWeb画面へのログインとログアウト、および画面の構成を説明しています。

第3章 Web GUIの機能

Web GUIのカテゴリーと画面を示し、それぞれの機能を説明しています。

第4章 コマンドサポート (IPMI)

BMCが受け付けるリクエスト(コマンド)、コマンドの機能、およびRequest/Responseデータフォーマットを説明しています。

付録 A REMCS

REMCSの設定について説明しています。

警告/重要表示について

このマニュアルでは以下の表示を使用して、使用者や周囲の方の身体や財産に損害を与えないための警告や使用者にとって価値のある重要な情報を示しています。

∧警告

「警告」とは、正しく使用しない場合、死亡する、または重傷を負うことがあり得ること(潜在的 な危険状態)を示しています。

⚠注意

「注意」とは、正しく使用しない場合、軽傷、または中程度の傷害を負うことがあり得ることと、 当該製品自身またはその他の使用者などの財産に、損害が生じる危険性があることを示しています。

本文中の警告表示の仕方

警告レベルの記号の後ろに警告文が続きます。警告文は、通常の記述と区別するため、行端を変えていま す。さらに、通常の記述行からは、前後1行ずつ空けています。

改版記録表

版数	日付	変更箇所(変更種別)(*1)	変更内容
01	2020-02-27	-	新規作成
02	2020-03-17	はじめに 3章	「安全・電波・電源高調波(欧州)」を追加 「規制」に「CE準拠」を追加 「表 3.28 SNMP Trap設定情報の指定」の更新。 画面の表示項目の記載順の変更。
03	2020-06-25	2章 3章	「2.1.1 ログイン」の「ログインする」の備考の更新 「表 3.2 [FRU Information] 画面の表示項目」および「3.5.2 Firmware Update」の更新

1: 変更箇所は最新版の項番を示している。ただし、アスタリスク()の付いている項番は、旧版の項番を示す。

以下の項目について説明します。

- 安全な使用のために
- 各国の法規制準拠
- 規制
- マニュアル体系
- 表記上の規則
- 警告ラベル

安全な使用のために

このマニュアルの取扱いについて

このマニュアルには、当製品を安全に使用していただくための重要な情報が記載されています。当製品を 使用する前に、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 オペレーティングマニュアル』 (C120-0089)、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 はじめにお読みください』(C120-0093)、 『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 安全にご使用いただくために』(C120-0092)、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 BMCユーザーズガイド』(C120-0091)、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 アップグレード&メンテナンスマニュアル』(C120-0090)を熟読してください。特 にそれぞれのマニュアルに記載されている「安全上の注意事項」をよく読み、理解したうえで当製品を使 用してください。

このマニュアルは大切に保管してください。

富士通は、使用者および周囲の方の身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、マニュアルの説明に従ってください。

当製品について

当製品は、一般事務用、パーソナル用、通常の産業用などの一般的用途を想定して設計・製造されている ものです。原子力核制御、航空機、飛行制御、航空交通管制、大量輸送運行制御、生命維持、兵器発射制 御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する 重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう設計・製造されたもの ではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置をほどこすことなく、 当製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社担当営業までご相談くだ さい。

各国の法規制準拠

FX700システムは以下の法規制に準拠しています。

北米

安全・電波	•	電源高調波	(北米)
-------	---	-------	------

取得規格	規格番号	安全	電波	電源高調波
UL	ANSI/UL 60950-1, 2 nd Ed., 2014-10-14	1		
FCC	FCC Part-15 Subpart-B (2019)		1	
CSA	CAN/CSA-C22.2 No. 60950-1-07, 2 nd Ed., 2014-10	1		
ICES	ICES-003 Issue6 (2017)		1	

環境物質(北米)

規格番号	省エネ	環境物質	リサイクル
臭素系難燃剤規制(米国メイン州、ワシントン州、オレゴン州、バーモント州)		1	
過塩素酸化合物の環境への排出を抑制する法律(カリフォルニア州)		1	
プロポジション65(カリフォルニア州)		1	
特定有害物質禁止法規(SOR/2012-285)		1	

輸出関連(北米)

規格番号
IATA 危険物規則書第58版(2017年版)
(リチウム/リチウムイオン電池/電気二重層キャパシタの輸送規制)
外国為替及び外国貿易法
北米関税規制(NAFTA)
FIPS 140 (Federal Information Processing Standardization 140)
暗号モジュールに関するセキュリティ要件の仕様を規定する米国連邦標準規格
NIST SP800-171(米国セキュリティ基準)
貿易調整支援(Trade Adjustment Assistance:TAA)

欧州

安全・電波・電源高調波(欧州)

取得規格	規格番号	安全	電波	電源高調波
EN, IEC	IEC 60950-1:2005 (2 nd Ed.) ; Am1:2009+Am2:2013 EN 60950-1:2006 +A11:2009 +A1:2010+A12:2011+A2: 2013	1		
	EN62479 (2010) EN55035 (2017) EN55032 (2012); Class A EN55024 (2010) EN61000-4-2 (2009) EN61000-4-3 (2006),+A1, +A2 EN61000-4-4 (2012) EN61000-4-5 (2014),+A1 EN61000-4-6 (2014) EN61000-4-8 (2010) EN61000-4-11(2004),+A1 EN300 386 V2.1.1(2016)		1	
	EN61000-3-2 (2014) EN61000-3-3 (2013)			✓

環境物質・リサイクルと廃棄(欧州)

規格番号	省エネ	環境物質	リサイクル
ErP指令 (2009/125/EC)	1	1	1
RoHSI (2011/65/EU)		1	
新化学品 規則(REACH: No 1907/2006)		1	
電池及び蓄電池に関する欧州議会及び理事会指令(2006/66/EC)		1	
電気・電子機器廃棄物指令(WEEE指令)			1

環境物質・リサイクルと廃棄(欧州)(続き)

規格番号	省エネ	環境物質	リサイクル
包装及び包装廃棄物に関する欧州議会及び理事会指令(包装材指令)			✓

輸出関連(欧州)

規格番号
IATA 危険物規則書第58版(2017年版)
(リチウム/リチウムイオン電池/電気二重層キャパシタの輸送規制)
外国為替及び外国貿易法
各国関税法
米国輸出管理規則(Export Administration Regulations:EAR)

日本

安全・電波・電源高調波(日本)

取得規格	規格番号	安全	電波	電源高調波
PSE	電気用品安全法	1		
VCCI	VCCI (2016) /VCCI-CISPR 32 (2016)		1	
-	JIS C 61000-3-2 (2019)			✓

省エネ・環境物質・リサイクルと廃棄(日本)

規格番号	省エネ	環境物質	リサイクル
エネルギーの使用の合理化に関する法律	1		
化学物質の審査及び製造に関する法律(化審法)		1	
国等による環境物品等の調達の促進に関する法律(グリーン購入法)		1	
資源の有効な利用の促進に関する法律			1

輸出関連(日本)

規格番号
IATA 危険物規則書第58版(2017年版)
(リチウム/リチウムイオン電池/電気二重層キャパシタの輸送規制)
関税法基本通達

韓国

安全・電波・電源高調波(韓国)

取得規格	規格番号	安全	電波	電源高調波
ксс	K 60950-1 (2.0) (2011-12) (PSUのみ)	1		
	KN32 Class A KN35 KN61000-4-2/3/4/5/6/8/11		1	

リサイクルと廃棄(韓国)

規格番号	省エネ	環境物質	リサイクル
包装材分別表示規則			✓

輸出関連(韓国)

規格番号
IATA 危険物規則書第58版(2017年版)
(リチウム/リチウムイオン電池/電気二重層キャパシタの輸送規制)
外国為替及び外国貿易法
米国輸出管理規則(Export Administration Regulations:EAR)

オーストラリア/ニュージーランド

安全・電波・電源高調波(オーストラリア/ニュージーランド)

取得規格	規格番号	安全	電波	電源高調波
RCM	IEC60950-1:2005 (2 nd Ed.) ; Amd1+ Amd2 with AU, NZ deviation	1		
	AS/NZS CISPR 32 (2013)		1	

輸出関連(オーストラリア/ニュージーランド)

規格番号				
IATA 危険物規則書第58版(2017年版)				
(リチウム/リチウムイオン電池/電気二重層キャパシタの輸送規制)				
外国為替及び外国貿易法				
米国輸出管理規則(Export Administration Regulations:EAR)				

適合規制条件への対応

製品に記載されている適合規制条件は、以下のとおりです。

- Voluntary Control Council for Interference (VCCI) - Japan

一般財団法人 VCCI 協会 (VCCI) - 日本

本製品を設置する前に、製品に記載されている注意文をよくお読みください。 製品に記載されている注意文は、以下のとおりです。

- VCCI クラスA 注意文について

この装置は、クラスA 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起 こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCC I-A

規制

ここでは、規制を説明します。

CE準拠

システムは、欧州規制の要件に適合しています。

⚠注意

この製品はクラスA製品です。この製品を家庭環境で使用するとRF干渉を引き起こすことがあります。 この場合にはユーザーが適切な対策を採る必要があります。

FCCクラスA適合性宣言

デバイスに FCC 宣言の表示がある場合は、本書に別段の規定がない限り、この宣言は本書に記載されている製品に適用されます。その他の製品に関する宣言は、付属のドキュメントに記載されます。

▲注意

この機器は、FCC規則のPart15で規定されている「クラスA」デジタルデバイスの条件に準拠して いることが、試験を通じて検証されていて、デジタルデバイスについてのカナダ干渉発生機器標準 ICES-003のすべての要件を満たしています。これらの制限は、本装置を家庭内設置で運用する場合 に、電波障害に対する適切な保護措置が行われるように設計されています。本製品は、無線周波エ ネルギーを発生、使用、また放射する可能性があり、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあ りますが、手順に厳密に従って設置、利用する場合はその限りではありません。ただし、特定の設 置条件で干渉が発生しないという保証はありません。本製品によってラジオまたはテレビに有害な 干渉が発生する場合(機器のスイッチをオン/オフして確認できます)、以下の1つまたは複数の対 策を講じて干渉を修復することを推奨します。

- 受信アンテナの方向を変えるか設置場所を変えます。
- 装置と受信機との距離を広げます。
- 装置を、受信機が接続されている回路とは別のコンセントに接続します。
- 販売店または経験を積んだラジオ/TV技術者にサポートを依頼します。

この機器を許可なく改造したり、富士通が指定する以外の接続ケーブルや機器の代替使用または接 続を行った場合は、これによって生じたラジオまたはテレビの干渉について、富士通は、一切の責 任を負わないものとします。このような許可のない改造、代替使用、接続によって生じた干渉は、 ユーザーの責任で修正するものとします。

本装置をいずれかのオプションの周辺機器またはホストデバイスに接続するには、シールドされた I/Oケーブルを使用する必要があります。遮蔽I/Oケーブルを使用しないと、FCCおよびICES規則に 違反する場合があります。

マニュアル体系

ドキュメントは、オンラインで入手できます。 日本の場合

https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/supercomputer/downloads/ 海外の場合

https://www.fujitsu.com/global/products/computing/servers/supercomputer/documents/ ドキュメントの概要は、以下の表を参照してください。

ドキュメント	マニュアルコード	説明
FUJITSU Supercomputer	C120-0089	装置のインストール、セットアップ、および運用の
PRIMEHPC FX700 オペレーティン		方法に関する情報を記載しています(オンラインで
グマニュアル		提供)。

ドキュメント	マニュアルコード	説明
FUJITSU Supercomputer	C120-0090	装置のアップグレード、または故障したハードウェ
PRIMEHPC FX700 アップグレード		アの交換手順を記載しています(オンラインで提供)。
&メンテナンスマニュアル		
FUJITSU Supercomputer	C120-0091	装置の状態を管理するBMC(Baseboard Management
PRIMEHPC FX700 BMCユーザーズ		Controller)に関する情報を記載しています(オンラ
ガイド		インで提供)。
FUJITSU Supercomputer	C120-0092	安全に関する重要な情報を記載しています(オンラ
PRIMEHPC FX700 安全にご使用い		インおよび印刷版で提供)。
ただくために		
FUJITSU Supercomputer	C120-0093	装置の開梱後、参照すべきマニュアルおよび重要な
PRIMEHPC FX700 はじめにお読み		情報へのアクセス方法について説明しています(製
ください		品添付マニュアル)。

添付品の保管について

添付品はFX700本体装置の運用上必要になりますので、大切に保管してください。

表記上の規則

本書では、以下のような字体や記号を、特別な意味を持つものとして使用しています。

字体または記号	意味	記述例
AaBbCc123	ユーザーが入力し、画面上に表示される内容を示します。	<pre># adduser jsmith</pre>
	この字体は、コマンドの入力例を示す場合に使用され	
	ます。	
AaBbCc123	コンピューターが出力し、画面上に表示されるコマン	Shell> showinfo
	ドやファイル、ディレクトリの名称を示します。	•
	この字体は、枠内でコマンドの出力例を示す場合に使	•
	用されます。	M.2 Slot Device Status: PASS
[]	参照するマニュアルのタイトルを示します。	FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC
		FX700 BMCユーザーズガイド』を参照
		してください。
Гј	参照する章、節、項、ボタンやメニュー名を示します。	「第4章 操作」を参照してください。

警告ラベル

当製品には警告ラベルが貼付されています。

⚠注意

ラベルは絶対にはがさないでください。

本体装置(天面)



商標一覧

- 会社名と製品名はそれぞれ各社の商標、または登録商標です。
- 本資料に掲載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示(TM、(R))を付記して おりません。

本書を無断で複製・転載しないようにお願いします。 All Rights Reserved, Copyright. 富士通株式会社 2020

製品取扱い上の注意事項

メンテナンスについて

▲警告

当製品および弊社提供のオプション製品について、点検や修理の作業は担当技術員または弊社の担 当営業へ依頼してください。お客様は絶対に作業しないようお願いします。感電、けが、発火のお それがあります。

当製品の改造/再生について

∧注意

当製品に改造を加えたり、当製品の中古品を再生して使用したりすると、使用者や周囲の方の身体や財産に予期しない損害が生じるおそれがあります。

ご不要になったときの廃棄・リサイクル

弊社では、ご使用済みのICT 製品を回収・リサイクル(有償)し、資源の有効利用に積極的に取り組んで います。詳細は、弊社ホームページ「ICT 製品の処分・リサイクル方法」(https://www.fujitsu.com/jp/ about/environment/society/recycleinfo/)をご覧いただくか、担当営業にお問い合わせください。

リチウム電池の取扱いについて

当製品には、リチウム電池を使用していますが、リチウム電池の交換をお客様に実施していてだくことは ありません。お客様は絶対に作業しないようお願いします。破裂、爆発のおそれがあります。 目 次

はじめば	c		i
制品和均	ー 及し、ト	の注音車面	v
			~
第1章	We	b GUIを使用するための環境と設定	1
	1.1	動作環境	1
		1.1.1 OS	1
		1.1.2 ブラウザ	1
		1.1.3 言語	1
	1.2	各種設定	2
		1.2.1 ブラウザの設定	2
		1.2.2 ネットワークの設定	2
第2章	We	b GUIの基本操作と動作	3
	2.1	ログインとログアウト	3
		2.1.1 ログイン ······	3
		2.1.2 ログアウト ······	6
	2.2	Web GUI画面の説明 ······	7
第3章	We	b GUIの機能 ······	10
	3.1	Server Status	11
		3.1.1 FRU Information	11
		3.1.2 CMU information ·····	12
	3.2	System Event Logs	15
	3.3	Power Control	23
	3.4	Configuration	25
		3.4.1 Chassis Settings	25
		3.4.2 Services ·····	27
		3.4.3 Network Settings	32
		3.4.4 Time Settings	34
		3.4.5 SNMP Trap Settings	35
		3.4.6 SSL Certificate Configuration	39
	3.5	Maintenance	42
		3.5.1 Maintenance ·····	42
		3.5.2 Firmware Update ·····	46
		3.5.3 REMCS	48

		3.5.4	REMCS Detail Setup	49
	3.6	User	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	49
		3.6.1	Modify User ·····	50
		3.6.2	One Time Password	51
第4章		マンド	サポート (IPMI) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	53
	4.1	コマン	・ドー覧表	53
		4.1.1	Get Chassis Status (NetFN:00h, CMD:01h) ·····	53
		4.1.2	Chassis Control (NetFN:00h, CMD:02h)	55
		4.1.3	IPMI標準コマンド一覧表 ・・・・・	55
付録A	RE	MCS		56
	A.1	REMO	Sの設定	56
	A.1	REM0 A.1.1	Sの設定	56 56
	A.1	REMC A.1.1 A.1.2	Sの設定 環境の準備 REMCSの設定	56 56 57
	A.1 A.2	REMC A.1.1 A.1.2 REMC	Sの設定 環境の準備 REMCSの設定 CS Detail Setup	56 56 57 66
	A.1 A.2	REMC A.1.1 A.1.2 REMC A.2.1	CSの設定 環境の準備 REMCSの設定 CS Detail Setup REMCS CEメニュー(初期画面)	56 56 57 66 66
	A.1 A.2	REMC A.1.1 A.1.2 REMC A.2.1 A.2.2	Sの設定 環境の準備 REMCSの設定 CS Detail Setup REMCS CEメニュー(初期画面) 環境詳細情報	56 56 57 66 66 67
	A.1 A.2	REMC A.1.1 A.1.2 REMC A.2.1 A.2.2 A.2.3	CSの設定 環境の準備 REMCSの設定 CS Detail Setup REMCS CEメニュー(初期画面) 環境詳細情報 接続先REMCSセンター	56 56 57 66 66 67 69
	A.1 A.2	REMC A.1.1 A.1.2 REMC A.2.1 A.2.2 A.2.3 A.2.4	Sの設定 環境の準備 REMCSの設定 S Detail Setup REMCS CEメニュー(初期画面) 環境詳細情報 接続先REMCSセンター 日本語/英語切替え	56 56 57 66 66 67 69 70
	A.1 A.2	REMC A.1.1 A.1.2 REMC A.2.1 A.2.2 A.2.3 A.2.4 A.2.5	CSの設定 環境の準備 REMCSの設定 CS Detail Setup REMCS CEメニュー(初期画面) 環境詳細情報 接続先REMCSセンター 日本語/英語切替え 装置名表示の切替え	56 56 57 66 66 67 69 70 70
	A.1 A.2	REMC A.1.1 A.1.2 REMC A.2.1 A.2.2 A.2.3 A.2.4 A.2.5 A.2.6	Sの設定 環境の準備 REMCSの設定 S Detail Setup REMCS CEメニュー(初期画面) 環境詳細情報 接続先REMCSセンター 日本語/英語切替え 装置名表示の切替え 個人情報削除	56 56 57 66 66 67 69 70 70 70
	A.1 A.2	REMC A.1.1 A.1.2 REMC A.2.1 A.2.2 A.2.3 A.2.4 A.2.5 A.2.6 A.2.6 A.2.7	CSの設定 環境の準備 環境の準備 REMCSの設定 CS Detail Setup CS REMCS CEメニュー (初期画面) 環境詳細情報 環境詳細情報 EMCSセンター 日本語/英語切替え 医置名表示の切替え 個人情報削除 SSL証明書の表示	56 56 57 66 66 67 69 70 70 71 72

図表目次

図目次

図 2.2 [Logout] ボタン 6 図 2.3 画面構成および画面サイズ 7 図 2.4 Information領域 7 図 3.1 [FRU Information] 画面 11 図 3.2 [CMU Information] 画面 13 3 3 [System Event Logs] 画面 13 図 3.3 [System Event Logs] 画面 16 図 3.4 snapshot採取ダイアログ 18 図 3.5 詳細ダイアログボックス 22 図 3.6 [Power Control] 画面 23 図 3.7 [Chassis Settings] 画面 26 図 3.8 [Services] 画面 28 図 3.9 webサービス変更ダイアログボックス 29 図 3.10 sshサービス変更ダイアログボックス 29 図 3.10 sshサービス変更ダイアログボックス 30 図 3.11 snmpサービス変更ダイアログボックス 31 図 3.12 [Network Settings] 画面 32 図 3.13 [Time Settings] 画面 32 図 3.14 [SNMP Trap Settings] 画面 36 図 3.15 [SSL Certificate Configuration] 画面の[Upload SSL] タブ 40 図 3.16 [SSL Certificate Configuration] 画面の[View SSL] タブ 41 図 3.17 [Maintenance] 画面 43 図 3.20 [REMCS Detail] 画面 49 図 3.21 [Modify User] 画面 50 図 3.22 [One Time Password] 画面 58 図 4.1 [Jンターへ取りのご案内] 画面
図 2.3 画面構成および画面サイズ 7 図 2.4 Information領域 7 図 3.1 [FRU Information] 画面 11 図 3.2 [CMU Information] 画面 13 図 3.3 [System Event Logs] 画面 16 図 3.4 snapshot採取ダイアログ 18 図 3.5 詳細ダイアログボックス 22 図 3.6 [Power Control] 画面 23 図 3.7 [Chassis Settings] 画面 26 図 3.8 [Services] 画面 26 図 3.9 webサービス変更ダイアログボックス 29 図 3.10 sshサービス変更ダイアログボックス 29 図 3.11 snmpサービス変更ダイアログボックス 30 図 3.12 [Network Settings] 画面 32 図 3.13 [SINP Trap Settings] 画面 32 図 3.14 [SNMP Trap Settings] 画面 36 図 3.15 [SSL Certificate Configuration] 画面の [Upload SSL] タブ 40 図 3.16 [SSL Certificate Configuration] 画面の [Upload SSL] タブ 41 図 3.17 [Maintenance] 画面 43 図 3.19 [REMCS] 画面 49 図 3.21 [Modify User] 画面 50 図 3.22 [One Time Password] 画面 52 図 A.1 [kās≹&登録のご案内] 画面 58 図 A.2 [按機先先EMCSセンターの設定] 画面 58 図 A.2 [按機先先EMCSセンターの設定] 画面 59 図 A.4 [インターネット (メールの
図 2.4 Information領域 7 図 3.1 [FRU Information] 画面 11 図 3.2 [CMU Information] 画面 13 図 3.3 [System Event Logs] 画面 16 図 3.4 snapshot採取ダイアログ 18 図 3.5 詳細ダイアログボックス 22 図 3.6 [Power Control] 画面 23 図 3.7 [Chassis Settings] 画面 26 図 3.7 [Chassis Settings] 画面 28 図 3.9 webサービス変更ダイアログボックス 29 図 3.10 sshサービス変更ダイアログボックス 29 図 3.11 snmpサービス変更ダイアログボックス 30 図 3.11 snmpサービス変更ダイアログボックス 31 図 3.12 [Network Settings] 画面 32 図 3.13 sshサービス変更ダイアログボックス 30 図 3.14 [SNMP Trap Settings] 画面 32 図 3.15 [SSL Certificate Configuration] 画の[Upload SSL] タブ 40 図 3.16 [State Certificate Configuration] 画面の[Upload SSL] タブ 41 図 3.17 [Maintenance] 画面 43 図 3.18 [Firmware Update] 画面 47 図 3.20 [REMCSD Betail] 画面 50 <
図 3.1 [FRU Information] 画面 11 図 3.2 [CMU Information] 画面 13 図 3.3 [System Event Logs] 画面 16 図 3.4 snapshot採取ダイアログ 18 図 3.5 詳細ダイアログボックス 22 図 3.6 [Power Control] 画面 23 図 3.7 [Chassis Settings] 画面 26 図 3.8 [Services] 画面 28 図 3.9 webサービス変更ダイアログボックス 29 図 3.10 sshサービス変更ダイアログボックス 30 図 3.11 snmpサービス変更ダイアログボックス 31 図 3.12 [Network Settings] 画面 32 図 3.13 [Time Settings] 画面 32 図 3.14 [SNMP Trap Settings] 画面 34 3 3.15 [SSL Certificate Configuration] 画面の [Upload SSL] タブ 40 図 3.16 [SSL Certificate Configuration] 画面の [View SSL] タブ 41 ③ 3.18 [Firmware Update] 画面 47 図 3.19 [REMCS] 画面 49 ③ 3.21 [Modify User] 画面 49 ③ 3.22 [One Time Password] 画面 50 図 3.22 [One Time Password] 画面 58 図 A.1 [お客様登録のご案内] 画面 58 図 A.2 [接続先REMCSセンターの設定] 画面 59 図 A.4 [インターネット (メールのみ) 接続の環境設定] 画面 59
図 3.1 [FRU Information] 画面 11 図 3.2 [CMU Information] 画面 13 図 3.3 [System Event Logs] 画面 16 図 3.4 snapshot採取ダイアログ 18 図 3.5 詳細ダイアログボックス 22 図 3.6 [Power Control] 画面 23 図 3.7 [Chassis Settings] 画面 26 図 3.7 [Chassis Settings] 画面 26 図 3.7 [Chassis Settings] 画面 27 図 3.9 webサービス変更ダイアログボックス 29 図 3.10 sshサービス変更ダイアログボックス 30 図 3.11 snmpサービス変更ダイアログボックス 31 図 3.12 [Network Settings] 画面 32 図 3.13 [Time Settings] 画面 32 図 3.14 [SNMP Trap Settings] 画面 34 3 3.15 [SSL Certificate Configuration] 画面の [Upload SSL] タブ 41 図 3.16 [SSL Certificate Configuration] 画面の [View SSL] タブ 41 ③ 3.17 [Maintenance] 画面 43 図 3.19 [REMCS] 画面 47 図 3.20 [REMCS Detail] 画面 49 図 3.21 [Modify User] 画面 49 図 3.22 [One Time Password] 画面 50 図 3.23 [One Time Password] 画面 58 図 A.1 [お客様登録のご案内] 画面 58 図 A.2 [接続先REMCSセンターの設定] 画面 58 図
図 3.2 [CMU Information] 画面 13 図 3.3 [System Event Logs] 画面 16 図 3.4 snapshot採取ダイアログ 18 図 3.5 詳細ダイアログボックス 22 図 3.6 [Power Control] 画面 23 図 3.7 [Chassis Settings] 画面 26 図 3.8 [Services] 画面 28 図 3.9 webサービス変更ダイアログボックス 29 図 3.10 sshサービス変更ダイアログボックス 30 図 3.11 snmpサービス変更ダイアログボックス 31 図 3.12 [Network Settings] 画面 32 図 3.13 sinmpサービス変更ダイアログボックス 31 図 3.14 [SNMP Trap Settings] 画面 32 図 3.15 [SSL Certificate Configuration] 画面の[Upload SSL] タブ 40 図 3.16 [SSL Certificate Configuration] 画面の[Upload SSL] タブ 41 図 3.17 [Maintenance] 画面 47 図 3.18 [Firmware Update] 画面 49 図 3.20 [REMCS] 画面 49 図 3.21 [Modify User] 画面 50 図 3.22 [One Time Password] 画面 52 図 A.1 [ts客様登録のご案内] 画面 58 図 A.2
図 3.3 [System Event Logs] 画面 16 図 3.4 snapshot採取ダイアログ 18 図 3.5 詳細ダイアログボックス 22 図 3.6 [Power Control] 画面 23 図 3.7 [Chassis Settings] 画面 26 図 3.8 [Services] 画面 28 図 3.9 webサービス変更ダイアログボックス 29 図 3.10 sshサービス変更ダイアログボックス 30 図 3.11 snmpサービス変更ダイアログボックス 31 図 3.12 [Network Settings] 画面 32 図 3.13 smptheticx変更ダイアログボックス 31 図 3.14 [SNMP Trap Settings] 画面 32 図 3.15 [SSL Certificate Configuration] 画面の[Upload SSL] タブ 40 図 3.16 [SSL Certificate Configuration] 画面の[View SSL] タブ 41 図 3.17 [Maintenance] 画面 47 図 3.18 [Firmware Update] 画面 49 図 3.20 [REMCS] 画面 49 図 3.21 [Modify User] 画面 50 図 3.22 [One Time Password] 画面 52 図 A.1 [ts客様登録のご案内] 画面 58 図 A.2 [接続先REMCSセンターの設定] 画面 58 図 A.3
図 3.4 snapshot採取ダイアログ 18 図 3.5 詳細ダイアログボックス 22 図 3.6 [Power Control] 画面 23 図 3.7 [Chassis Settings] 画面 26 図 3.8 [Services] 画面 28 図 3.9 webサービス変更ダイアログボックス 29 図 3.10 sshサービス変更ダイアログボックス 30 図 3.11 snmpサービス変更ダイアログボックス 31 図 3.12 [Network Settings] 画面 32 図 3.13 simpt 一ビス変更ダイアログボックス 31 図 3.14 snmpt 一ビス変更ダイアログボックス 31 図 3.15 ISSL Certificate Configuration] 画面 34 図 3.16 [SSL Certificate Configuration] 画面の [Upload SSL] タブ 40 図 3.16 [SSL Certificate Configuration] 画面の [View SSL] タブ 41 図 3.17 [Maintenance] 画面 47 図 3.18 [Firmware Update] 画面 49 図 3.20 [REMCS] 画面 49 図 3.21 [Modify User] 画面 50 図 3.22 [One Time Password] 画面 52 図 A.1 [お客様登録のご案内] 画面 58 図 A.2 [接続先REMCSセンターの設定] 画面 59
図 3.5 詳細ダイアログボックス 22 図 3.6 [Power Control] 画面 23 図 3.7 [Chassis Settings] 画面 26 図 3.8 [Services] 画面 28 図 3.9 webサービス変更ダイアログボックス 29 図 3.10 sshサービス変更ダイアログボックス 30 図 3.11 snmpサービス変更ダイアログボックス 31 図 3.12 [Network Settings] 画面 32 図 3.13 [Time Settings] 画面 34 図 3.14 [SNMP Trap Settings] 画面 36 図 3.15 [SSL Certificate Configuration] 画面の [Upload SSL] タブ 40 図 3.16 [SSL Certificate Configuration] 画面の [View SSL] タブ 41 図 3.17 [Maintenance] 画面 43 図 3.19 [REMCS] 画面 49 図 3.20 [REMCS Detail] 画面 49 図 3.21 [Modify User] 画面 50 図 3.22 [Cone Time Password] 画面 52 図 A.1 [ta客様登録のご案内] 画面 58 図 A.2 [接続先REMCSセンターの設定] 画面 58 図 A.3 [初期設定] 画面 59 図 A.4 [インターネット (メールのみ) 接続の環境設定] 画面 59
図 3.6 [Power Control] 画面 23 図 3.7 [Chassis Settings] 画面 26 図 3.8 [Services] 画面 28 図 3.9 webサービス変更ダイアログボックス 29 図 3.10 sshサービス変更ダイアログボックス 30 図 3.11 snmpサービス変更ダイアログボックス 31 図 3.12 [Network Settings] 画面 32 図 3.13 sinp サービス変更ダイアログボックス 31 図 3.14 [SNMP Trafy Settings] 画面 32 図 3.15 [SSL Certificate Configuration] 画面の [Upload SSL] タブ 40 図 3.16 [SSL Certificate Configuration] 画面の [Upload SSL] タブ 41 図 3.17 [Maintenance] 画面 43 図 3.18 [Firmware Update] 画面 47 図 3.20 [REMCS] 画面 49 図 3.21 [Modify User] 画面 50 図 3.22 [One Time Password] 画面 52 図 A.1 [お客様登録のご案内] 画面 58 図 A.2 [接続先REMCSセンターの設定] 画面 58 図 A.3 [初期設定] 画面 59 図 A.4 [インターネット (メールのみ) 接続の環境設定] 画面 59
図 3.7 [Chassis Settings] 画面 26 図 3.8 [Services] 画面 28 図 3.9 webサービス変更ダイアログボックス 29 図 3.10 sshサービス変更ダイアログボックス 30 図 3.11 snmpサービス変更ダイアログボックス 31 図 3.12 [Network Settings] 画面 32 図 3.13 ITime Settings] 画面 32 図 3.14 [SNMP Trap Settings] 画面 36 図 3.15 [SSL Certificate Configuration] 画面の [Upload SSL] タブ 40 図 3.16 [SSL Certificate Configuration] 画面の [View SSL] タブ 41 図 3.17 [Maintenance] 画面 43 図 3.18 [Firmware Update] 画面 47 図 3.20 [REMCS] 回面 49 図 3.21 [Modify User] 画面 50 図 3.22 [One Time Password] 画面 52 図 A.1 [お客様登録のご案内] 画面 58 図 A.2 [接続先REMCSセンターの設定] 画面 58 図 A.3 [初期設定] 画面 59 図 A.4 [インターネット (メールのみ) 接続の環境設定] 画面 59
図 3.8 [Services] 画面 28 図 3.9 webサービス変更ダイアログボックス 29 図 3.10 sshサービス変更ダイアログボックス 30 図 3.11 snmpサービス変更ダイアログボックス 31 図 3.12 [Network Settings] 画面 32 図 3.13 ITime Settings] 画面 34 図 3.14 [SNMP Trap Settings] 画面 36 図 3.15 [SSL Certificate Configuration] 画面の [Upload SSL] タブ 40 図 3.16 [SSL Certificate Configuration] 画面の [View SSL] タブ 41 図 3.17 [Maintenance] 画面 43 図 3.18 [Firmware Update] 画面 49 図 3.20 [REMCS] 画面 49 図 3.21 [Modify User] 画面 50 図 3.22 [One Time Password] 画面 52 図 A.1 [お客様登録のご案内] 画面 58 図 A.2 [接続先REMCSセンターの設定] 画面 58 図 A.3 [初期設定] 画面 59 図 A.4 [インターネット (メールのみ) 接続の環境設定] 画面 59
図 3.9 webサービス変更ダイアログボックス 29 図 3.10 sshサービス変更ダイアログボックス 30 図 3.11 snmpサービス変更ダイアログボックス 31 図 3.12 [Network Settings] 画面 32 図 3.13 [Time Settings] 画面 34 図 3.14 [SNMP Trap Settings] 画面 36 図 3.15 [SSL Certificate Configuration] 画面の [Upload SSL] タブ 40 図 3.16 [SSL Certificate Configuration] 画面の [View SSL] タブ 41 図 3.17 [Maintenance] 画面 43 図 3.18 [Firmware Update] 画面 47 図 3.20 [REMCS] 画面 49 図 3.21 [Modify User] 画面 50 図 3.22 [One Time Password] 画面 52 図 A.1 [お客様登録のご案内] 画面 58 図 A.2 [接続先REMCSセンターの設定] 画面 58 図 A.3 [初期設定] 画面 59 図 A.4 [インターネット (メールのみ) 接続の環境設定] 画面 59
図 3.10 sshサービス変更ダイアログボックス 30 図 3.11 snmpサービス変更ダイアログボックス 31 図 3.12 [Network Settings] 画面 32 図 3.13 [Time Settings] 画面 34 図 3.14 [SNMP Trap Settings] 画面 36 図 3.15 [SSL Certificate Configuration] 画面の [Upload SSL] タブ 40 図 3.16 [SSL Certificate Configuration] 画面の [View SSL] タブ 41 図 3.17 [Maintenance] 画面 43 図 3.18 [Firmware Update] 画面 47 図 3.19 [REMCS] 画面 49 図 3.20 [REMCS Detail] 画面 49 図 3.21 [Modify User] 画面 50 図 3.22 [One Time Password] 画面 52 図 A.1 [お客様登録のご案内] 画面 58 図 A.2 [接続先REMCSセンターの設定] 画面 58 図 A.3 [初期設定] 画面 59 図 A.4 [インターネット (メールのみ) 接続の環境設定] 画面 59
図 3.11 snmpサービス変更ダイアログボックス 31 図 3.12 [Network Settings] 画面 32 図 3.13 [Time Settings] 画面 34 図 3.14 [SNMP Trap Settings] 画面 36 図 3.15 [SSL Certificate Configuration] 画面の [Upload SSL] タブ 40 図 3.16 [SSL Certificate Configuration] 画面の [View SSL] タブ 41 図 3.17 [Maintenance] 画面 43 図 3.18 [Firmware Update] 画面 47 図 3.19 [REMCS] 画面 49 図 3.20 [REMCS Detail] 画面 49 図 3.21 [Modify User] 画面 50 図 3.22 [One Time Password] 画面 58 図 A.2 [接続先REMCSセンターの設定] 画面 58 図 A.3 [初期設定] 画面 59 図 A.4 [インターネット (メールのみ) 接続の環境設定] 画面 59
図 3.12 [Network Settings] 画面 32 図 3.13 [Time Settings] 画面 34 図 3.14 [SNMP Trap Settings] 画面 36 図 3.15 [SSL Certificate Configuration] 画面の [Upload SSL] タブ 40 図 3.16 [SSL Certificate Configuration] 画面の [View SSL] タブ 41 図 3.17 [Maintenance] 画面 43 図 3.18 [Firmware Update] 画面 47 図 3.19 [REMCS] 画面 49 図 3.20 [REMCS Detail] 画面 49 図 3.21 [Modify User] 画面 50 図 3.22 [One Time Password] 画面 52 Ø A.2 [接続先REMCSセンターの設定] 画面 58 図 A.3 [初期設定] 画面 59 Ø A.4 [インターネット (メールのみ) 接続の環境設定] 画面 59
図 3.13 [Time Settings] 画面
図 3.14 [SNMP Trap Settings] 画面 36 図 3.15 [SSL Certificate Configuration] 画面の [Upload SSL] タブ 40 図 3.16 [SSL Certificate Configuration] 画面の [View SSL] タブ 41 図 3.17 [Maintenance] 画面 43 図 3.18 [Firmware Update] 画面 47 図 3.19 [REMCS] 画面 49 図 3.20 [REMCS Detail] 画面 49 図 3.21 [Modify User] 画面 50 図 3.22 [One Time Password] 画面 52 Ø A.1 [お客様登録のご案内] 画面 58 図 A.2 [接続先REMCSセンターの設定] 画面 58 図 A.3 [初期設定] 画面 59 図 A.4 [インターネット (メールのみ) 接続の環境設定] 画面 59
図 3.15[SSL Certificate Configuration] 画面の [Upload SSL] タブ40図 3.16[SSL Certificate Configuration] 画面の [View SSL] タブ41図 3.17[Maintenance] 画面43図 3.18[Firmware Update] 画面47図 3.19[REMCS] 画面49図 3.20[REMCS Detail] 画面49図 3.21[Modify User] 画面50図 3.22[One Time Password] 画面52図 A.1[お客様登録のご案内] 画面58図 A.2[接続先REMCSセンターの設定] 画面58図 A.3[初期設定] 画面59図 A.4[インターネット (メールのみ) 接続の環境設定] 画面59
図 3.16 [SSL Certificate Configuration] 画面の [View SSL] タブ 41 図 3.17 [Maintenance] 画面 43 図 3.18 [Firmware Update] 画面 47 図 3.19 [REMCS] 画面 49 図 3.20 [REMCS Detail] 画面 49 図 3.21 [Modify User] 画面 50 図 3.22 [One Time Password] 画面 52 図 A.1 [お客様登録のご案内] 画面 58 図 A.2 [接続先REMCSセンターの設定] 画面 58 図 A.3 [初期設定] 画面 59 図 A.4 [インターネット (メールのみ) 接続の環境設定] 画面 59
図 3.17 [Maintenance] 画面43図 3.18 [Firmware Update] 画面47図 3.19 [REMCS] 画面49図 3.20 [REMCS Detail] 画面49図 3.21 [Modify User] 画面50図 3.22 [One Time Password] 画面52図 A.1 [お客様登録のご案内] 画面58図 A.2 [接続先REMCSセンターの設定] 画面58図 A.3 [初期設定] 画面59図 A.4 [インターネット (メールのみ) 接続の環境設定] 画面59
図 3.18[Firmware Update] 画面47図 3.19[REMCS] 画面49図 3.20[REMCS Detail] 画面49図 3.21[Modify User] 画面50図 3.22[One Time Password] 画面52図 A.1[お客様登録のご案内] 画面58図 A.2[接続先REMCSセンターの設定] 画面58図 A.3[初期設定] 画面59図 A.4[インターネット (メールのみ) 接続の環境設定] 画面59
図 3.19 [REMCS] 画面 49 図 3.20 [REMCS Detail] 画面 49 図 3.21 [Modify User] 画面 50 図 3.22 [One Time Password] 画面 52 図 A.1 [お客様登録のご案内] 画面 58 図 A.2 [接続先REMCSセンターの設定] 画面 58 図 A.3 [初期設定] 画面 59 図 A.4 [インターネット (メールのみ) 接続の環境設定] 画面 59
図 3.20 [REMCS Detail] 画面 49 図 3.21 [Modify User] 画面 50 図 3.22 [One Time Password] 画面 52 図 A.1 [お客様登録のご案内] 画面 58 図 A.2 [接続先REMCSセンターの設定] 画面 58 図 A.3 [初期設定] 画面 59 図 A.4 [インターネット (メールのみ) 接続の環境設定] 画面 59
図 3.21 [Modify User] 画面 50 図 3.22 [One Time Password] 画面 52 図 A.1 [お客様登録のご案内] 画面 58 図 A.2 [接続先REMCSセンターの設定] 画面 58 図 A.3 [初期設定] 画面 59 図 A.4 [インターネット (メールのみ) 接続の環境設定] 画面 59
図 3.22 [One Time Password] 画面 52 図 A.1 [お客様登録のご案内] 画面 58 図 A.2 [接続先REMCSセンターの設定] 画面 58 図 A.3 [初期設定] 画面 59 図 A.4 [インターネット (メールのみ) 接続の環境設定] 画面 59
図 A.1 [お客様登録のご案内]画面 58 図 A.2 [接続先REMCSセンターの設定]画面 58 図 A.3 [初期設定]画面 59 図 A.4 [インターネット(メールのみ)接続の環境設定]画面 59
図 A.1 [お客様登録のご案内]画面58図 A.2 [接続先REMCSセンターの設定]画面58図 A.3 [初期設定]画面59図 A.4 [インターネット (メールのみ) 接続の環境設定]画面59
図 A.2 [接続先REMCSセンターの設定]画面58図 A.3 [初期設定]画面59図 A.4 [インターネット (メールのみ) 接続の環境設定]画面59
図 A.3 [初期設定]画面
図 A.4 [インターネット(メールのみ) 接続の環境設定] 画面
図 A.5 [定期接続スケジュール設定]画面
図 A.6 [お客様情報の入力]画面 ······ 62
図 A.7 [入力情報の確認]画面 ·······63

义	A.8	[情報送信に関する合意事項] 画面	64
义	A.9	[レジストレーション結果] 画面	64
义	A.10	[接続確認] 画面	65
义	A.11	[接続確認結果] 画面	66
义	A.12	REMCS CEメニュー(初期画面)	67
义	A.13	環境詳細情報	67
义	A.14	接続先REMCSセンターの設定 ······	70
义	A.15	日本語/英語の切替え	70
义	A.16	装置ID/ユニーク名の切替え ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	71
义	A.17	個人情報削除	71
义	A.18	証明書の表示	72
义	A.19	SSL証明書が存在しない場合の表示	72
义	A.20	接続センターリストの入れ替え	73

表目次

表	2.1	ログイン画面の操作項目 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	4
表	2.2	ログイン画面の表示項目	5
表	2.3	画面のアイコン	5
表	2.4	[Logout] ボタン	6
表	2.5	Error Statusの背景色と文字色の意味	8
表	3.1	Web GUIの画面の一覧 ······	10
表	3.2	[FRU Information] 画面の表示項目	12
表	3.3	[CMU Information] 画面の表示項目 ······	13
表	3.4	[System Event Logs] 画面の操作項目	17
表	3.5	採取するスナップショットの指定	18
表	3.6	ダウンロード対象とする環境ログの指定	19
表	3.7	Event type Filterのフィルター条件	19
表	3.8	[System Event Logs] 画面の [Logs:] の表示項目	20
表	3.9	詳細ダイアログボックスの表示項目	22
表	3.10	[Power Control] 画面の操作項目	24
表	3.11	電源制御と起動モードの指定	24
表	3.12	[Power Control] 画面の表示項目	25
表	3.13	[Chassis Settings] 画面の操作項目 ······	26
表	3.14	FX700本体装置名と高度の指定	26
表	3.15	[Chassis Settings] 画面の表示項目	27
表	3.16	[Services] 画面の表示項目	28
表	3.17	[Chassis Settings] 画面の操作項目 ······	29
表	3.18	webサービスの指定 ·····	30
表	3.19	sshサービスの指定 ・・・・・	31
表	3.20	snmpサービスの指定 ・・・・・	32
表	3.21	[Network Settings] 画面の操作項目 ······	33
表	3.22	ネットワーク情報の指定	33
表	3.23	[Network Settings] 画面の表示項目	33
表	3.24	[Time Settings] 画面の操作項目 ·····	34
表	3.25	日時設定情報の指定	34
表	3.26	[Time Settings] 画面の表示項目	35
表	3.27	[SNMP Trap Settings] 画面の操作項目	36
表	3.28	SNMP Trap設定情報の指定	36
表	3.29	[SNMP Trap Settings] 画面の表示項目	39
表	3.30	[SSL Certificate Configuration] 画面の [Upload SSL] タブでの操作項目	40
表	3.31	[Upload SSL] タブの表示項目 ······	40
表	3.32	[SSL Certificate Configuration] 画面の [View SSL] タブでの表示項目	41

表	3.33	[Maintenance] 画面の操作項目 ······	43
表	3.34	[Power Control] での操作 ······	44
表	3.35	[Maintenance] 画面の [CMU Maintenance] での表示項目	44
表	3.36	[Maintenance] 画面の [PSU Maintenance] での表示項目	45
表	3.37	[Maintenance] 画面の [FANU Maintenance] での表示項目	45
表	3.38	[Firmware Update] 画面の操作項目 ······	47
表	3.39	[Firmware Update] 画面の表示項目 ······	48
表	3.40	[Modify User] 画面の操作項目	50
表	3.41	ユーザー登録情報の変更([Modify User] 画面)	51
表	3.42	[Modify User] 画面の表示項目	51
表	3.43	[One Time Password] 画面の操作項目	52
表	3.44	ショートパスワードの発行	52
表	4.1	Get Chassis statusフォーマット	54
表	4.2	Chassis Control フォーマット	55
表	4.3	Chassis Deviceコマンド一覧	55
表	A.1	インターネット接続の場合	57
表	A.2	[インターネット(メールのみ)接続の環境設定] 画面での指定	59
表	A.3	[定期接続スケジュール設定] 画面での指定	61
表	A.4	[お客様情報の入力] 画面での指定 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	62
表	A.5	[接続確認] 画面での指定	65
表	A.6	[環境詳細設定画面] での指定	68

第1章 Web GUIを使用するための環境と設定

この章では、BMCをWeb上で操作する環境を説明します。

1.1 動作環境

ここではBMCのWeb GUIの動作環境を示します。

1.1.1 OS

OSはWindows 8.1以降をサポートします。

1.1.2 ブラウザ

ブラウザは、Microsoft Internet Explorer11以降をサポートします。サポートプロトコルはhttpおよびhttps です。

1.1.3 言語

Web GUI画面:英語
 REMCS画面:英語および日本語
 以下はブラウザにより表示される領域のため、OSの言語設定に依存します。
 ダイアログのタイトル
 ファイル選択欄のボタン

1.2 各種設定

ここではBMCのWeb GUIを使用するための設定を説明します。

1.2.1 ブラウザの設定

- JavaScriptを使用するため、ブラウザのJavaScriptをenableに設定します。

- ポップアップブラウザを使用するため、ブラウザのポップアップブロックを無効に設定します。
- Cookieによる認証を行うため「自動Cookie処理を上書きする」を有効に設定します。
- イントラネット サイトの互換表示を無効に設定します。

1.2.2 ネットワークの設定

省電力イーサネット設定を無効にする必要があります。

第2章 Web GUIの基本操作と動作

この章ではBMCを操作するWeb画面へのログインとログアウト、および画面の構成を説明します。

2.1 ログインとログアウト

ここでは、Web GUIにログイン/ログアウトする手順を説明します。 Web GUIを操作する前に、ブラウザは以下のように設定してください。

- ポップアップ:有効
- JavaScript : 有効
- Cookie : 有効

2.1.1 ログイン

- 1. ブラウザを開きます。
- 2. ブラウザに標準またはSSLのどちらかのアドレスを入力します。

標準:http://nodename:adminport

SSL : https://nodename:adminport

- nodename BMCのIPアドレス(BMC Management LAN [デフォルト値:装置ごと]、またはBMC Service LAN [デフォルト値: 172.16.0.1/24])を指定します。

- adminport BMCの管理ポートに割り当てたポート番号を指定します。 デフォルト値 標準:8081 SSL:432

ログイン画面から、Web GUIにログインします。

← (⇒) (http://localho	st:4567/index.html	5 - Q	FX700 BMC	×	- □ × 命☆ 鐚
FUĴITSU	FX700 xx	x-C0100 S/N : TE	ST0000000		
	通知領域	Username:	ogin		
	<u>Requ</u> 1 2 3	ired Browser Settings Allow popups from th Allow file download f Enable javascript for	is site rom this site. (How to this site)	
	4 It is r optio	. Enable cookies for the ecommended not to use ns of the browser.	is site 🎔	ard	

図 2.1 ログイン画面

この画面では、以下の操作ができます。

表 2.1 ログイン画面の操作項目

操作項目	説明
Username	ログインするユーザー名を入力します(16文字以内)。
Password	パスワードを入力します(16文字以内)。
Login	クリックするとログイン処理を行います。手順は「ログインする」を参照して
	ください。

ログインする

1. UsernameとPasswordを入力します。

Username : hpcmainte Password : HPCMAINTE

2. [Login] ボタンをクリックします。

[FRU Information] 画面が表示されます。

備考

- 認証に失敗すると、ログイン画面に戻ります。
- ユーザー名またはパスワードに不備があると、エラーメッセージが表示されます。
- 同時ログイン保証数は9です。
- 30分間無操作の場合、自動ログアウトします。

- 同一PCからの複数アクセスはサポートしていません。

この画面では、以下が表示されます。

表示項目	表示内容
(通知領域)	ログイン認証失敗時にエラーメッセージが表示されます。エラーではない場合
	は空白になります。
Required Browser Settings	動作環境のチェック結果が表示されます。
	- Allow popups from this site 🤣
	ポップアップが可能であるかの確認結果
	- Allow file download from this site. (How to 🔁)
	ダウンロード許可方法
	👔 をクリックするとヘルプが表示される(「ヘルプ画面」参照)
	- Enable javascript for this site 🥝
	JavaScriptが有効であるかの確認結果
	- Enable cookies for this site 🤣
	Cookieが有効であるかの確認結果
It is recommended not to use	Web GUI利用時の注意事項が表示されます。
Refresh, Back and Forward	
options of the browser.	

[アイコン]は次のように表示されます。

表 2.3 画面のアイコン

アイコン	意味
\bigcirc	ОК
8	NG
?	ヘルプ画面を表示する

2.1.2 ログアウト

セッションを切断してログアウトします。

	-		
×		{	ስ 🖈 🔅
ı			
		C	
	⁸ dummy (Administrator)	C Refresh	Logout
User			HELP
			~

図 2.2 [Logout] ボタン

以下の操作ができます。

表 2.4 [Logout] ボタン

操作項目	説明
Logout	クリックするとログアウト処理を行います。手順は「ログアウトする」を参照
	してください。

ログアウトする

1. [Logout] ボタンをクリックすると、ログアウトします。

2.2 Web GUI画面の説明

画面の構成とサイズを以下に示します。





Information領域

この領域では、以下が表示されます。



	項目名	説明	表示条件
(1)	ГJ	Fujitsuロゴが表示されます。	
(2)	Series Name	シャーシに設定されているシリーズ名が表 示されます。	
(3)	Chassis Name	シャーシに設定されているFX700本体装置 名が表示されます。	常に表示されます。
(4)	Serial Number	S/N:のあとに、シャーシに設定されている シリアル番号が表示されます。	常に表示されます。

	項目名	説明	表示条件
(5)	Chassis Status	Chassis:のあとに以下のいずれかが表示され ます。 - Normal - Warning - Alarm - ReservedAlarm - EPO(Emergency Power Off)	ログイン画面では非表示です。
(6)	Chassis Power Status	シャーシの電源状態が表示されます。 - Power On - Power Off	ログイン画面では非表示です。
(7)	Node Status	Node:のあとには、すべてのNodeのうち、 最も重大なエラー状態が表示されます。表 示の優先度は、Nodeの交換強度に従い、以 下の順になります。 - RouterEAlarm(Router Emergency Alarm) - Alarm - ReservedAlarm - ResetRequest-U - ResetRequest-C - Warning - Normal	ログイン画面では非表示です。
(8)	保守状態	保守状態が表示されます。 - Cold Maintenance - Warm Maintenance 備考 保守モード設定時は、「Warm Maintenance」 または「Cold Maintenance」が表示され、 Information領域全体がオレンジ色で表示さ れます。	Maintenance状態の場合に 表示されます。
(9)	ログインユーザー	ユーザー名と権限が表示されます。	ログイン画面では非表示です。
(10)	Refresh	クリックすると画面を更新します。	ログイン画面では非表示です。
(11)	Logout	クリックするとログアウトします。	ログイン画面では非表示です。

ナビゲーションバー

メニューを選択すると、「コンテンツ領域」に内容が表示されます。

コンテンツ領域

Information領域のナビゲーションバーのメニューで選択したページおよびヘルプが表示されます。 Error Statusの背景色と文字色は以下の状態を示しています。

表	2.5	Error Statusの背景色と文字色の意味
---	-----	-------------------------

状態	背景色	文字色
正常	ページの背景色	黒色
警告	黄色	黒色
異常	赤色	白色
未搭載	灰色	白色

画面情報の更新

Information領域の状態は10秒で自動更新されます。コンテンツ領域は自動更新されません。

- 手動で最新情報にするには以下のどちらかの操作を行います。
- [Refresh] ボタンをクリックする
- ナビゲーションバーから再度同じメニューを選択する

ヘルプ画面

ヘルプ画面は、ナビゲーションバーのHELPをクリックして表示します。 ヘルプ表示を終了する場合は、ヘルプ画面の[×]ボタンをクリックします。

第3章 Web GUIの機能

この章では、Web GUIのカテゴリーと画面を示し、それぞれの機能を説明します。 BMCの画面を以下に示します。

カテゴリー名	画面名	権限	説明
Server Status	FRU Information	表示	各ユニットのシリアル番号/図番他表示
	CMU Information	表示	CMU/Node状態表示
System Event Logs	-	表示/操作	- snapshotの採取指示/ダウンロード - 環境ログのダウンロード - System Event Log情報の表示 - その他付帯ログの表示
Power Control	-	表示/操作	- ノードパワーオン/オフ指示 - 各ノードのステータス表示
Configuration	Chassis Settings	表示/操作	- FX700本体装置名の表示/設定 - 高度の表示/設定
	Services	表示/操作	- http/https/ssh/snmpサービス有効/無効の表示/設定 - 各サービスのポート番号の表示/設定
	Network Settings	表示/操作	- IPアドレス・ネットマスク設定/表示 - ルーティング情報設定/表示
	Time Settings	表示/操作	- 日付・時刻の設定/表示 - タイムゾーン情報の表示/設定 - NTPサーバとの同期指示 - NTPサーバの表示/設定
	SNMP Trap Settings	表示/操作	SNMP Trapの設定/表示
	SSL Certificate Configuration	表示/操作	- 署名済みWebサーバ証明書のアップロード - Webサーバの秘密鍵のアップロード - CSR内容の表示
Maintenance	Maintenance	表示/操作	- Maintenance Mode開始/終了指示 - CMU/PSUの電源操作指示
	Firmware Update	表示/操作	- カレントのファーム版数表示 - ファームウェアイメージのアップロード - ファームウェアイメージの適用
	REMCS	表示/操作	- REMCS画面の表示 - REMCSの設定
	REMCS Detail Setup	表示/操作	REMCS Detail Setup画面の表示
User	Modify User	表示/操作	- ユーザー名の表示/変更 - パスワードの変更
	One Time Password	表示/操作	One Time Passwordの発行

= 2	1 \//_h		
ਡਦ ਹ	I VVED) (コレル(/))田	
-IX 0.			

3.1 Server Status

このカテゴリーは、主に装置のハードウェア情報を表示する機能を提供します。

3.1.1 FRU Information

[FRU Information] 画面では、各ユニットのシリアル番号、版数、異常状態、および電源状態を確認できます。

備考

- 部品が未実装の場合は「Not-Present」が表示されます。
- Web画面の背景色が示す状態については「表 2.5 Error Statusの背景色と文字色の意味」を参照してください。

http://localhost:45	67/index.html	,Р т С <u>(</u> е́ ғ)	(700 BMC ×		សិរ
S ITSU FX70	00 xxx-C0100 S/N	: TEST00000000 Chassis : No	ormal, Power On Node : Norma	1	
				8 hpcipmi (Us	er) 🗆 Refresh 📑 l
r Status System Event	Logs Power Contr	ol Configuration Maintena	ance User		
		Maintena	nce		
J Information		Firmware	Update		
		REMCS			
		REMCS	Detail Setup	All LED Clear	All Status Clear
age gives detailed information	n for the various ERU devi	ices present in this system			
ERU Device Name	Frror Status	Part Number	Serial Number	Rev A	Power Status
/CMU#00	Warning	CA07570-D103	PP143003KP	A2	On
/CMU#00/PCIECARD#00	Normal	-	-	-	-
CMU#00/PCIECARD#01	Normal	-	-	-	-
/CMU#00/SSD#00	Normal	-	-	-	-
/CMU#00/SSD#01	Normal	-	-	-	-
/CMU#01	Normal	CA07570-D103	PP143004KP	A2	On
/CMU#01/PCIECARD#00	Normal	-	-	-	-
/CMU#01/PCIECARD#01	Normal	-	-	-	-
/CMU#01/SSD#00	Normal	-	-	-	-
/CMU#01/SSD#01	Normal	-	-	-	-
/CMU#02	Alarm	CA07570-D103	PP143005KP	A2	Off
/CMU#02/PCIECARD#00	Normal	-	-	-	-
CMU#02/PCIECARD#01	Normal	-	-	-	-
/CMU#02/SSD#00	Normal	-	-	-	-
/CMU#02/SSD#01	Normal	-	-	-	-
/CMU#03	Normal	CA07570-D103	PP143006KP	A2	On
CMU#03/PCIECARD#00	Normal	-	-	-	-
CMU#03/PCIECARD#01	Normal	-	-	-	-
/CMU#03/SSD#00	Normal	-	-	-	-
/CMU#03/SSD#01	Normal	-	-	-	-
/BMCU#00	Normal	CA20368-B04X	PP142401UU	A2	-

図 3.1 [FRU Information] 画面

[FRU Information] 画面では、以下が表示されます。

表 3.2 [FRU	Information]	画面の表示項目
------------	--------------	---------

表示項目	表示内容
FRU Device Name	FRU名が表示されます。
Error Status	FRUの稼働状態が表示されます。
	- Normal(正常)
	- Warning(警告)
	- Alarm(異常)
	- EAlarm(異常)
	- AC-Lost(異常)
	- Not-Present(未搭載)
	- Unknown(正常)(Error Statusの取得失敗時に表示されます)
	状態を示す背景色の表示については 「表 2.5 Error Statusの背景色と文字色
	の意味」を参照してください。
	備考
	FRUが未搭載(Not-Present)またはUnknownの場合、Part Number以降は「―」
	が表示され 、グレーアウトします。
Part Number	FRU(CMU、BMCU、BMCIF)の部品番号が表示されます。
Serial Number	FRU(CMU、BMCU、BMCIF)のシリアル番号が表示されます。
Rev	FRU(CMU、BMCU、BMCIF)の版数が表示されます。
Power Status	電源状態が表示されます。

3.1.2 CMU information

[CMU Information] 画面では、CMUの故障情報、メンテナンス状態、およびCMU内でのノードの稼働状態 を確認できます。

		-			
🔿 🌔 ht	ttp://localhost:4567/index.html	، ۵	C 🦉 FX700 BMC	×	ਿੱ ਹ
) JITSU	FX700 xxx-C010	0 S/N : TEST0000000 Cha	assis : Normal, Power On	Node : Normal ⁸ hpcadmin (Administrator) CRefresh 🗗 L
U Info	rmation	er control comguration	Mantenance User		
CMU# 🛆	CMU Error Status 🔺 Mnt Statu	is △ Node#0 Err Status △	Node#0 Power Status	Node#1 Err Status	Node#1 Power Status
00	Normal -	Normal	Stop	Normal	Stop
01	Warning -	Normal	OS Running	Alarm	Stop
02	Normal -	ResetRequest-C	OS Running	Normal	OS Running

図 3.2 [CMU Information] 画面

[CMU Information] 画面では、以下が表示されます。

表 3.3 [CMU Information] 画面の表示項目

表示項目	表示内容
CMU #	CMU番号が表示されます。
CMU Error Status	CMUの稼働状態が表示されます。
	- Normal(正常)
	- Warning(警告)
	- Alarm(異常)
	- EAlarm(異常)
	- Not-Present(未搭載)
	- Unknown(正常)(Error Statusの取得失敗時に表示されます)
	状態を示す背景色の表示については「表 2.5 Error Statusの背景色と文字色の
	意味」を参照してください。
Mnt Status	メンテナンス状態が表示されます。
	- On:Warm Maintenance中
	: 上記以外
	- Unknown : Mnt Statusの取得失敗時に表示されます。

表示項目	表示内容
Node#0 Err Status	CMU内Node#0(CPU#0側のノード)の稼働状態が表示されます。
	- Normal(正常)
	- Warning(警告)
	- ReservedAlarm(異常)
	- ResetRequest-C(警告)
	- Alarm(異常)
	- RouterEAlarm(異常)
	- ResetRequest-U(異常)
	- Unknown(正常)(Error Statusの取得失敗時に表示されます)
	状態を示す背景色の表示については「表 2.5 Error Statusの背景色と文字色の
	意味」を参照してください。
Node#0 Power Status	CMU内Node#0(CPU#0側のノード)の稼働状態が表示されます。
	- Stop
	- Reset
	- POST
	- OS Booting
	- OS Running
	- OS Shutdown
	- OS Panic
	- UEFI Shell
	- Unknown(Error Statusの取得失敗時に表示されます)
Node#1 Err Status	CMU内Node#1(CPU#1側のノード)の稼働状態が表示されます。
	- Normal(正常)
	- Warning(警告)
	- ReservedAlarm(異常)
	- ResetRequest-C(警告)
	- Alarm(異常)
	- RouterEAlarm(異常)
	- ResetRequest-U(異常)
	- Unknown(正常)(Error Statusの取得失敗時に表示されます)
	状態を示す背景色の表示については「表 2.5 Error Statusの背景色と文字色の
	意味」を参照してください。

表 3.3 [CMU Information] 画面の表示項目 (続き)

表示項目	表示内容
Node#1 Power Status	CMU内Node#1(CPU#1側のノード)の稼働状態が表示されます。
	- Stop
	- Reset
	- POST
	- OS Booting
	- OS Running
	- OS Shutdown
	- OS Panic
	- UEFI Shell
	- Unknown(正常)(Error Statusの取得失敗時に表示されます)

表 3.3	[CMU Information]	画面の表示項目	(続き)
-------	-------------------	---------	------

3.2 System Event Logs

[System Event Logs] 画面では、装置で発生したイベントを確認できます。また、表示されたイベントロ グをダブルクリックすることで、詳細を確認できます。

义	3.3	[System	Event	Logs]	画面
---	-----	---------	-------	-------	----

) (http://localh	ost:4567/index.html		5 - Q	<i>ể</i> FX700 BI	MC ×	ណិ រ
0							
ĪITS	U	FX700 xxx-C010	0 S/N : TE	EST00000000 Chass	is : Normal,	Power On Node : No	ormal
							B hocadmin (Administrator) C Refresh
er Statu	s System	Event Logs Pow	er Control	Configuration M	aintenance	User	s npeadrinn (kanningaator) e kenresin – e
stem	Event L	ogs					
a gonor	ated by the eve	tom will be leaded berg	Double disk	on a record to can the De	atail		
is genera	aled by the sys	tern will be logged here	e. Double-click	on a record to see the De	elan.		
apshot	Files:						
No.		File Path		Time	Stamp		
0	/logs/snaj	oshot0.zip		05/08/2014 02:53:57			
1	-			-			
2	-			-			
							Collect
/ironm	ent Logs:						
o downio	ad the environ	ment logs, select the N	ode and Log 1	i ype, then click "Downloa	d" button.		
Node#:	00	✓ Log T	ype: electr	ical 🗸			
							Download
ant tur	e Filter:						
	e i iitei.						
elect the nly the e	event types be vents matching	elow to indicate and pus g all of the following sel	ection will be i	n to apply the new selection indicated on this webpage	n.		
lode#:	All						
	Specified	00	01	02		03	
		04	05	06		07	
		Chassis					
tatus:	 All Specified 	EAlarm	Alarm	Warning		Normal -	
RII-	All	LAidim	Aidilli	Wanning			
	Specified	CMU#00	CMU#01	CMU#02		CMU#03	
		CPUFW	IOCABL	E SSD		FANU	
DUC.	~ A!!	BMCU	PSU	BMCIF		ENVIRONMENT	
RUE:	 All Specified 	MEM	CPU				
							Filter
js:							
							Event Log: 3000 event entries, 15 page(s)
ode #	Log ID	Time Stamp	Status	Occurred	FRU	FRUE	Msg
-	0x6A3	03/26/2015 17:05:37	-	-	-	-	[CMU#1 Mainte] Not Maintenace [CMU#1 Mainte] Warm System
-	0x6A2	03/26/2015 16:49:27	-	-	- /CMU#02	- (CDI #00/MEM#00	Maintenance
•06	0x256	03/26/2015 16:32:47	Normal	03/26/2015 16:32:40	/CMU#03,	/CPU#00	Correctable Error
W 01	0x1E8	03/26/2015 14:14:03	B EAlarm	03/26/2015 14:13:58	/CMU#00	/CPU#01	CMU Node Fatal Error
01	0x1E7	03/26/2015 13:02:55	- 5 -	-	-	-	[Node Status] OS Running
03	0x25E	03/26/2015 13:02:55	ō -	-	-	-	[Node Status] OS Running
07	0x24C	03/26/2015 13:02:55	5 -	-	-	-	[Node Status] OS Running
05	0x258	03/26/2015 13:02:53	3 -	-	-	-	[Node Status] OS Running
04	0x24F	03/26/2015 13:02:50) -	-	-	-	[Node Status] OS Running
80	0x253	03/26/2015 13:02:49) -	-	-	-	[Node Status] OS Running
10	0x24D	03/26/2015 13:02:36	<u>;</u> -	-	-	-	[Node Status] OS Running
02	0x26C	03/26/2015 13:02:11	l - 7 -	-	-	-	[Node Status] OS Running
11	0x250	03/26/2015 13:00:25	- 5 -	-	-	-	[Node Status] OS Booting
01	0x1E6	03/26/2015 13:00:23	3 -	-	-	-	[Node Status] OS Booting
03	0x25D	03/26/2015 13:00:23	3 -	-	-	-	[Node Status] OS Booting
07	0x24B	03/26/2015 13:00:22	2 -	-	-	-	[Node Status] OS Booting
00	0x257	03/26/2015 13:00:21) -	-	-	-	[Node Status] OS Booting
04	0x24E	03/26/2015 13:00:18	3 -	-	-	-	[Node Status] OS Booting
08	0x252	03/26/2015 13:00:17	-	-	-	-	[Node Status] OS Booting
10	0x24C	03/26/2015 13:00:06	3 -	-	-	-	[Node Status] OS Booting

[System Event Logs] 画面では、以下の操作ができます。

表	3.4	[System E	Event Logs]	画面の打	操作項目
---	-----	-----------	-------------	------	------

操作項目	説明
Collect	スナップショットを採取します。手順は「スナップショットを採取する」を参
	照してください。
Download	環境ログをダウンロードします。手順は「環境ログをダウンロードする」を参
	照してください。
Filter	指定したフィルター条件でイベントの一覧を再表示します。手順は「指定した
	フィルター条件でイベントの一覧を再表示する」を参照してください。

スナップショットを採取する

Snapshotはハードウェア故障の詳細調査時に使用されます。

Snapshot採取時には、最寄りのFujitsuサービスセンターに「表 3.5 採取するスナップショットの指定」 を問い合わせください。

注意

- スナップショット採取には時間がかかります。また、スナップショットの採取中には、新たなスナップショットの採取はできません。

参考

- [System Event Logs] 画面には、最新から3000件までのイベントが表示されます。すべてのイベント を確認する場合は、スナップショットを採取してファイルをダウンロードしてください。
- 1. [Collect] ボタンをクリックします。

Snapshot採取ダイアログボックスが表示されます。

http://localhost:4567/inc	ex.html	Q + C	S EX700 BMC	×		
		~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~ ~	- NY UU DINC	2		00
FX700 x	x-C0100 S/N : TEST	00000000 Chassis :	Normal, Power On	Node : Normal		
1150				^		
Status System Event Logs	Power Control (Configuration Main	tenance User	Ö hpcadr	nin (Administrator)	Refresh 📕
Status System Event Loga		sonngurution mun				
tem Event Logs						
concreted by the system will be lo	read hare. Double-click on	a record to see the Detail				
generated by the system will be to	ged here. Double-click off	a record to see the Detail				
Collect Settings					X	
NO						
Туре		Partial O Full				
Encrypt		Enable				
Encrypt Key						
				Collect	Cancel	Collect
ronment Logs:						
download the environment logs, se	ect the Node and Log Type	e, then click "Download" b	utton.			
ode#: 00 🗸	Log Type: electrical					
						Download
nt type Filter:						
nt type Filter: lect the event types below to indicat by the events matching all of the foll	e and push Filter button to wing selection will be indi	apply the new selection. cated on this webpage.				
nt type Filter: ect the event types below to indical by the events matching all of the foll de#: All	e and push Filter button to wing selection will be india	apply the new selection. cated on this webpage.				

図 3.4 snapshot採取ダイアログ

表 3.5 採取するスナップショットの指定

入力項目	説明
Туре	採取する種別を指定します。
	- Partial
	- Full
Encrypt	暗号化する場合は、[Enable] チェックボックスをオンにします。
Encrypt Key	[Encrypt] で [Enable] チェックボックスをオンにした場合に、1~63文字の半角
	英数字と以下の半角記号で暗号化キーを指定します。
	! # \$ % * + , / : = ? @ [] ^ _ { } ~

2. 採取する種別、暗号化の有無などを指定し、[OK] ボタンをクリックします。

実行結果ダイアログボックスが表示されます。

3. [OK] ボタンをクリックします。

[System Event Logs] 画面に戻ります。

4. [Snapshot Files:] の [File Path] で、ダウンロードするスナップショットファイルをクリックします。

環境ログをダウンロードする

1. [Environment Logs:] で、ダウンロードする環境ログを指定します。

入力項目	説明
Node#	環境ログのダウンロード対象とするノードを指定します。
Log Type	環境ログのダウンロード対象種別を指定します。
	- electrical(電源部品の電圧/電流ログ、またはPSU電圧、電流関連ログ)
	- environment(電源部品の温度ログ、またはPSU温度、FAN情報ログ)
	- inlet thermal(吸気温度ログ。シャーシのみ指定可)

表 3.6 ダウンロード対象とする環境ログの指定

2. [Download] ボタンをクリックします。

確認ダイアログボックスが表示されます。

3. [OK] ボタンをクリックします。

環境ログがダウンロードされ、[System Event Logs] 画面に戻ります。

指定したフィルター条件でイベントの一覧を再表示する

[System Event Logs] 画面の [Logs:] には、登録されているイベントログのうち、最新から3000件までが 表示されます。フィルター機能を使用すると、[System Event Logs] 画面の [Logs:] に表示されている 3000件のイベントログから、指定したフィルター条件を満たすものを抽出できます。

1. フィルター条件を指定します。

入力項目	説明
Node#	フィルター条件(Node)を指定します。
	- All
	- Specified(00~07およびChassisを選択可能)
Status	フィルター条件(Status)を指定します。
	- All
	- Specified(EAlarm、Alarm、Warning、Normal、-(ハイフン)を選択可能)
FRU	フィルター条件(FRU)を指定します。
	- All
	- Specified (CMU#00、CMU#01、CMU#02、CMU#03、CPUFW、IOCABLE、
	SSD、FANU、BMCU、PSU、BMCIF、ENVIRONMENTを選択可能)
FRUE	フィルター条件(FRUE)を指定します。
	- All
	- Specified(CPU、MEMを選択可能)

表 3.7 Event type Filterのフィルター条件

2. [Filter] ボタンをクリックします。

イベントの一覧が再表示されます。

[System Event Logs] 画面の [Logs:] では、以下が表示されます。1画面に表示されるのは200件までです。 前後の画面は、以下をクリックして表示します。 [>]:1つ後ろの画面

- [>>]: 1 3後の0回 [>>]: 最終画面
- [<]:1つ前の画面
- [<<]:先頭画面
表示項目	表示内容
Node #	イベントの登録元(ノードまたはシャーシ)が表示されます。
	- 00~07 : ノード番号
	(ハイフン):シャーシ
	また、[Status] に応じたアイコンが表示されます。
	- EAlarm : 🕫
	- Alarm : 🍘
	- Warning : 🛕
	- Normal : 🌘
	- [Status] が-(ハイフン)の場合、アイコンなし
Log ID	ログの登録順を示すログIDが16進数で表示されます。
Time Stamp	スナップショットが採取されたローカルタイムの日時が「MM/DD/YYYY hh:mm:ss」
	の形式で表示されます。
	- MM:月
	- DD : 日
	- YYYY:年
	- hh : 時
	- mm : 分
	- ss : 秒
Status	FRUの交換強度が表示されます。
	- EAlarm:対応する被疑部品の使用を即時停止し、FRUの即時交換が必要な状態
	- Alarm:対応する被疑部品の使用をジョブ完了後に停止したのち、FRUの即
	時交換が必要な状態
	- Warning : 対応する被疑部品の使用は継続できるが、FRUの計画的な保守交
	換が必要な状態
	- Normal : 交換が不要な状態
Occurred	エラーが発生したローカルタイムの日時が「MM/DD/YYYY hh:mm:ss」の形式
	で表示されます。
	- MM:月
	- DD : 日
	- YYYY:年
	- hh : 時
	- mm : 分
	- ss : 秒
	エラーが発生していない場合は、-(ハイフン)が表示されます。

表 3.8 [System Event Logs] 画面の [Logs:] の表示項目

表示項目	表示内容
FRU(交換部品)	被疑ユニットが「第1被疑ユニット[,〈改行〉[装置名]第2被疑ユニット]」の
	形式で2つまで表示されます。
	エラーログがなく、被疑ユニットがない場合は、-(ハイフン)が表示されま
	す。また、第2被疑ユニットがない場合は、第2被疑ユニットは表示されません。
	【例】
	- 第1被疑ユニットのみの場合:
	/CMU#00
	- 第2被疑ユニットまである場合:
	/CMU#00,
	/Chassis
FRUE (交換部品の故障部位)	被疑箇所が「第1被疑箇所 [,第2被疑箇所]」の形式で2つまで表示されます。
	エラーログがなく、被疑箇所がない場合は、-(ハイフン)が表示されます。
	また、第2被疑箇所がない場合は、第2被疑箇所は表示されません。
	【例】
	- 第1被疑箇所のみの場合:
	/CPU#00
	- 第2被疑箇所まである場合:
	/CPU#00,
	/SBC_N#00
Msg	メッセージが表示されます。

表 3.8 [\$	System Event Logs] 画面の [Logs:]	の表示項目(続き)
-----------	-------------------	---------------	-----------

[System Event Logs] 画面の [Logs:] で特定のイベントログをダブルクリックすると、そのイベントの詳細 が詳細ダイアログボックスに表示されます。

	p://localhost:4567/ind	ex.html D - C FX700 BMC ×	- □ × ☆☆
บเ๊เรม	FX700 xx	x-C0100 S/N : TEST00000000 Chassis : Normal, Power On Node : Normal	
-,		Ô hpcadmin (Administr	ator) CRefresh 📕 Logo
erver Status	System Event Logs	Power Control Configuration Maintenance User	HEL
0 8	opecified 00 04	01 02 03 05 06 07	_
Status: 💿	Detail		X
FRU:	Node #	● ₀₆	
Ŭ	Log ID	0x256	
FRUE: 🔘 /	Time Stamp	03/26/2015 16:32:47	
0 1	Status	Normal	
	Occurred	03/26/2015 16:32:40	Filter
	FRU	/CMU#03, /CMU#03	
095.	FRUE	/CPU#00/MEM#00, /CPU#00	tries, 15 page(s)
Node# Lo	Msg	CMU Node Monitoring-only Correctable Error	
-	Fault Code	018A0039	aintenace System
●06 ●01	LATCH	185C0017 185C0027 185C0028 185C0029 185C002A 185C002C 185C002D 185C002E	only
01	Event Data	560202af 34145520 0004c11b 6f01ff77	ing ing
03 07	Diagnostic Messages	01020304 05060708 090a0b0c 0d0e0f10	ing
00 04 08 10 02 06 11 01 03	Appertain Log	OS Console - Panic Log 00000000: 66666666 66666666 66666666 66666666	ing ing ing ing ing ing ing ing ing ing
07 05 00 04 08 10		00000000: cccccccc cccccccc	ng ng ng ng ng ng ng
01 0	JX253 03/26/2015 Jx1E5 03/26/2015	12:59:52 [Node Status] POS 12:59:46 [Node Status] POS	Т
05 0	00/26/2015	12:50-X2 DOOT	

図 3.5 詳細ダイアログボックス

表 3.9 詳細ダイアログボックスの表示項目

表示項目	表示内容
Node #	「表 3.8 [System Event Logs] 画面の [Logs:] の表示項目」を参照してください。
Log ID	「表 3.8 [System Event Logs] 画面の [Logs:] の表示項目」を参照してください。
Time Stamp	「表 3.8 [System Event Logs] 画面の [Logs:] の表示項目」を参照してください。
Status	「表 3.8 [System Event Logs] 画面の [Logs:] の表示項目」を参照してください。
Occurred	「表 3.8 [System Event Logs] 画面の [Logs:] の表示項目」を参照してください。
FRU	「表 3.8 [System Event Logs] 画面の [Logs:] の表示項目」を参照してください。
FRUE	「表 3.8 [System Event Logs] 画面の [Logs:] の表示項目」を参照してください。
Msg	「表 3.8 [System Event Logs] 画面の [Logs:] の表示項目」を参照してください。

表示項目	表示内容
Fault Code	詳細コード
LATCH	詳細コード
Event Data	詳細コード
Diagnostic Messages	詳細コード
Appertain Log	詳細コード

表 3.9 詳細ダイアログボックスの表示項目(続き)

3.3 **Power Control**

[Power Control] 画面では、ノードの電源状態を確認したり制御したりできます。

図 3.6	[Power Control] 画面
-------	--------------------

JIIS	U	FA/00 XXX-C	0100 S/IN : 1ES10	Chassis :	normal, Power On Node : Norma		Co-frack
ver Statu	ıs System	Event Logs	Power Control Co	onfiguration Main	tenance User	npcadmin (Administrator)	Refresh PLog
wer	Control						
ode Pov	wer Control						
ect a pow	er control option	n for one or more n	odes, then click the App	ly button to take effect.			
Power O	n All					-	
Node#	Error Status	Running Status	Maintenance Status	Power Control	Boot Script Number	-	
00	Not-Present	-		(Not specified) V	Force boot into EFI Boot Manager		
01	Not-Present	-	-	(Not specified) V	Force boot into EFI Boot Manager N		
02	-	POST	-	(Not specified) 🗸	Force boot into EFI Boot Manager N	-	
03	-	OS Booting	-	(Not specified) 🗸	Force boot into EFI Boot Manager N	-	
04	-	OS Running	-	(Not specified) 🗸	Force boot into EFI Boot Manager N	-	
05	-	OS Shutdown	-	(Not specified) 🗸	Force boot into EFI Boot Manager N	-	
06	w	OS Panic	-	(Not specified) V	Force boot into EFI Boot Manager N	1	
07	A	UEFI Shell	-	(Not specified) V	Force boot into EFI Boot Manager		
07	A	UEFI Shell	-	(Not specified) 🗸	Force boot into EFI Boot Manager N	-	
							Appl
							Дру

現在の状態を知りたい場合は、[Refresh] ボタンをクリックして、画面を再読み込みしてください。 [Power Control] 画面では、以下の操作ができます。

操作項目	説明
Apply	ノードの電源状態を変更します。手順は「ノードの電源状態を変更する」を参
	照してください。

表 3.10 [Power Control] 画面の操作項目

ノードの電源状態を変更する

1. [Power Control] および [Boot Script Number] に、ノードに対する電源制御と起動モードをそれぞれ指定します。

入力項目	説明
Power On All	[Power On All] チェックボックスをオンにした場合、電源がオフ状態のノード
	の [Power Control] に [Power On] が指定されます。
	いったんオンにした [Power On All] チェックボックスをオフに戻した場合、電
	源がオフ状態のノードの [Power Control] が [(Not specified)] に戻ります。
Power Control	ノードに対する電源制御を指定します。
	ノードの電源がオフの場合
	- Power On : 電源オンを指示する
	- (Not specified):何もしない
	ノードの電源がオンの場合
	- Stop : ノードを停止状態にする
	- Reset : ノードのOSを再起動する
	- Dump Request:OSダンプ採取を指示する
	- OS Shutdown : ノードのOSを停止する
	- (Not specified):何もしない
Boot Script Number	ノードの起動モードを指定します。
	- 00h : Bootノード用デフォルト
	- 01h : 非サポート
	- 02h : OSインストール用
	- Force boot into EFI Boot Manager:ブートせずにUEFIで停止
	- Auto select Boot Script Number:ノードの種別に応じたブートスクリプトを
	選択

表 3.11 電源制御と起動モードの指定

2. [Apply] ボタンをクリックします。

確認ダイアログボックスが表示されます。

3. [OK] ボタンをクリックします。

ノードの電源状態が変更され、[Power Control] 画面に戻ります。

[Power Control] 画面では、以下が表示されます。

表示項目	表示内容
Node#	ノード番号(00~07)が表示されます。
Error Status	ノードのエラー状態が表示されます。
	- Normalの場合 : - (ハイフン)(正常)
	- ResetRequest-Uの場合:RR-U(異常)
	- ResetRequest-Cの場合:RR-C(警告)
	- Warningの場合:W(警告)
	- ReservedAlarmの場合:R(異常)
	- Alarmの場合:A(異常)
	- RouterEAlarmの場合:EA(異常)
	- Error Statusの取得に失敗した場合: Unknown(正常)
	- CMUが未搭載の場合:Not-Present(未搭載)
	状態を示す背景色の表示については「表 2.5 Error Statusの背景色と文字色の
	意味」を参照してください。
Running Status	ノードの稼働状態が表示されます。
	- Stop
	- Reset
	- POST
	- UEFI Shell
	- OS Booting
	- OS Running
	- OS Panic
	- OS Shutdown
	- Unknown(Running Statusの取得失敗)
	(CMUが未搭載)
Maintenance Status	ノード(該当のCMU)のメンテナンス状態が表示されます。
	- On:Warm Maintenance中
	: 上記以外
	- Unknown:Maintenance Statusの取得失敗
Power Control	ノードに対する電源制御方法が表示されます。
Boot Script Number	ノードの起動モードが表示されます。

表 3.12 [Power Control] 画面の表示」	項目
-------------------------------	----

3.4 Configuration

このカテゴリーでは、FX700本体装置の設定に関する機能が提供されます。

3.4.1 Chassis Settings

[Chassis Settings] 画面では、FX700本体装置名および高度を確認したり設定したりできます。

			Jououo Chassis . Norm	al, Power On Node : Normal	
		min (Administrator) 🛛 Refresh 📑 I			
er Status S	ystem Event Logs	Power Control Con	figuration Maintenance	e User	
assis Set	tings				
age chassis setti	ngs of the device.				
Chassis Name	ххх-С100				
Altitude	100				
					Apply

図 3.7 [Chassis Settings] 画面

[Chassis Settings] 画面では、以下の操作ができます。

表 3.13 [Chassis Settings] 画面の操作項目

操作項目	説明
Apply	FX700本体装置情報を変更します。手順は「FX700本体装置情報を変更する」
	を参照してください。
Reset	現在設定されているFX700本体装置情報に戻します。

FX700本体装置情報を変更する

1. [Chassis Name] および [Altitude] に、FX700本体装置名および高度をそれぞれ指定します。

	表	3.14	FX700本体装置名と高度の指定
--	---	------	------------------

入力項目	説明
Chassis Name	FX700本体装置名を1~63文字の英数字、ハイフン、ピリオドで指定します。
	ハイフンとピリオドは、先頭と最後尾の文字には指定できません。
	入力時に元の名称が表示されている場合は、削除します。
Altitude	高度を0~3000で指定します。
	設定した値は100 m単位になります。
	入力時に元の高度が表示されている場合は、削除します。

2. [Apply] ボタンをクリックします。

確認ダイアログボックスが表示されます。

備考

- 現在設定されているFX700本体装置情報に戻す場合は、[Apply] ボタンの代わりに [Reset] ボタンを クリックします。

3. [OK] ボタンをクリックします。

FX700本体装置情報が変更され、[Chassis Settings] 画面に戻ります。

[Chassis Settings] 画面では、以下が表示されます。

表 3.15 [Chassis Settings] 画面の表示項目

表示項目	表示内容
Chassis Name	FX700本体装置名が表示されます。
Altitude	高度が表示されます。

3.4.2 Services

[Services] 画面では、web、ssh、snmpの各サービスの有効/無効とポート番号を確認できます。また、webサービスのポート番号、sshサービスの有効/無効、snmpサービスの有効/無効をそれぞれ変更できます。

図 3.8 [Services] 画面

🔿 🩋 http	p://localhost:4567/index.html	.Ω + ¢ 🧟 FX7	700 BMC ×	ŵ s
O	FX700 xxx-C0100 S	N · TEST0000000 Chassis · Nor	mal Power On Node : Normal	
1150	111/00 111-00100 5/		mai, rower on prode : Horman	
			🛱 hpcadmir) (Administrator) 🗢 Refresh 📑 I
r Status	System Event Logs Power Co	ontrol Configuration Maintenan	ice User	
vices				
ic a list of a	prices rupping on the BMC. It shows a	urrent status and other basis information at	out the convision Colort a clot and proce "Me	dify" button to modify the convice
uration.	intes funning of the birds it shows c	unent status and other basic information at	Jour the services. Select a slot and press mo	any button to mouny the services
# △	Service Name 🔺	Current State 🔺	Nonsecure Port 🔺	Secure Port 🔺
1	web	Active	8081	432
2	ssh	Active	N/A	N/A
3	snmp trap	Active	N/A	N/A
				Mod
				WOO

[Services] 画面では、以下が表示されます。

表 3.16 [Services] 画面の表示項目

表示項目	表示内容
Service Name	サービス名が表示されます。
Current Status	サービスの設定状態が表示されます。
	- Active:有効
	- Inactive:無効
	- N/A:設定値なし
Nonsecure Port	接続ポート番号が表示されます(webのみ表示)。
Secure Port	接続ポート番号が表示されます(webのみ表示)。

[Services] 画面では、以下の操作ができます。

操作項目	説明
Modify	- webサービスのポート番号を変更します。手順は「webサービスのポート番
	号を変更する」を参照してください。
	- sshサービスの有効/無効を変更します。手順は「sshサービスの有効/無効
	を変更する」を参照してください。
	- snmpサービスの有効/無効およびポート番号を変更します。手順は「snmp
	サービスの有効/無効を変更する」を参照してください。

表 3.17 [Chassis Settings] 画面の操作項目

webサービスのポート番号を変更する

1. [Service Name] がwebの行を選択し、[Modify] ボタンをクリックします。

webサービス変更ダイアログボックスが表示されます。

備考

- webの行をダブルクリックすることでも、webサービス変更ダイアログボックスを表示できます。



Statue Svet	n Event Loge Power Co	ntrol Configuration Maintonanco	Ô hpcadmin (Ad	Iministrator) CRefresh
-		Maintenance	USEI	
ices				
a list of services ation.	running on the BMC. It shows cu	irrent status and other basic information about th	e services. Select a slot and press "Modify	button to modify the servi
Mod	lify Service			¥ Port ▲ 32
Ser	vice Name	web		(A (A
Nor	nsecure Port	8081		
Sec	cure Port	432		
			Modify	Cancel

2. [Nonsecure Port] および [Secure Port] にポート番号をそれぞれ指定します。

表 3.18 webサービスの指定

表示/入力項目	説明
Service Name	webサービス名が表示されます。
Nonsecure Port	http接続ポート番号を1~65535で指定します。デフォルトのポート番号は8081 です。
Secure Port	https接続ポート番号を1~65535で指定します。デフォルトのポート番号は432 です。

3. [Modify] ボタンをクリックします。

実行確認ダイアログボックスが表示されます。

4. [OK] ボタンをクリックします。

現在のセッションが切断され、再ログインを促す画面が表示されます。

sshサービスの有効/無効を変更する

1. [Service Name] がsshの行を選択し、[Modify] ボタンをクリックします。

sshサービス変更ダイアログボックスが表示されます。

備考

- sshの行をダブルクリックすることでも、sshサービス変更ダイアログボックスを表示できます。

义	3.10	sshサービス変更ダイアログボックス
---	------	--------------------

			Âhaa	
Status System Event Log	s Power Control	Configuration Maintenan	ce User	dmin (Administrator) 🧠 Kerresn
ices				
s a list of services running on the ration.	BMC. It shows current sta	atus and other basic information ab	out the services. Select a slot and press	"Modify" button to modify the servi
Modify Service				32
Service Name		ssh		(A
Current State		✓ Active		M
			Ma	dify

2. sshサービスの有効/無効を指定します。

表 3.19 sshサービスの指定

表示/入力項目	説明
Service Name	sshサービス名が表示されます。
Current State	sshサービスを有効にする場合は、[Active] チェックボックスをオンにします。

3. [Modify] ボタンをクリックします。

実行確認ダイアログボックスが表示されます。

4. [OK] ボタンをクリックします。

[Services] 画面に戻ります。

snmpサービスの有効/無効を変更する

1. [Service Name] がsnmpの行を選択し、[Modify] ボタンをクリックします。

snmpサービス変更ダイアログボックスが表示されます。

備考

- snmpの行をダブルクリックすることでも、snmpサービス変更ダイアログボックスを表示できます。

図 3.11 snmpサービス変更ダイアログボックス

		8 hpca	dmin (Administrator) CRefresh
tatus System Event Logs	Power Control Configuration Mainte	inance User	
ces			
a list of services running on the BMC tion.	c. It shows current status and other basic informatio	on about the services. Select a slot and press	"Modify" button to modify the serv
Modify Service			Port A
Service Name	snmp trap		/A /A
Current State	✓ Active		
		Мо	dify Cancel

2. snmpサービスの有効/無効を指定します。

衣 3.20 SIIIIDサービスの拍走	表	3.20	snmpサー	ビスの指定
----------------------	---	------	--------	-------

表示/入力項目	説明
Service Name	snmpサービス名が表示されます。
Current Status	snmpサービスを有効にする場合は、[Active] チェックボックスをオンにします。

- [Modify] ボタンをクリックします。
 実行確認ダイアログボックスが表示されます。
- 4. [OK] ボタンをクリックします。

[Services] 画面に戻ります。

3.4.3 Network Settings

[Network Settings] 画面では、ネットワークの設定内容を確認したり変更したりできます。

図 3	.12 [N	letwork Settings	画面
-----	--------	------------------	----

- (=) 🤗 http://localhost:4567/i	ndex.html 🔎 – C 🦉 FX700 BMC 🛛 🗙	6 🕁
EX700	xxx-C0100 S/N · TEST00000000 Chassis · Normal Power On Node · N	Vormal
UJIISU IANU		(official
erver Status System Event Lo	rs Power Control Configuration Maintenance User	Ô hpcadmin (Administrator) ⊂ Refresh 📑 Log
etwork Settings		
anage network settings of the device.		
Control Port Configuration		
LAN Settings	✓ Enable	
MAC Address	00:66:77:88:99:aa	
IPv4 Address	192 168 1 102	
Subnet Mask	255 255 255 0	
Default Gateway	0.0.0.0	
benan outenay	0.0.0	
		Apply
aintenance Port Configurat	ion	
LAN Settings	✓ Enable	
MAC Address	00:11:22:33:44:55	
IPv4 Address	172.16.0.1	
Subnet Mask	255.255.255.0	
Default Gateway	0.0.0.0	
		Apply Reset

[Network Settings] 画面では、以下の操作ができます。

操作項目	説明		
Apply	ネットワーク情報を変更します。手順は「ネットワーク情報を変更する」を参		
	照してください。		
Reset	現在設定されているネットワーク情報に戻します。		

表 3.21 [Network Settings] 画面の操作項目

ネットワーク情報を変更する

1. [Control Port Configuration] または [Maintenance Port Configuration] の各項目を指定します。

注意

- [Control Port Configuration] または [Maintenance Port Configuration] のどちらか一方の項目を変更 します。同時に両方のポートの項目を変更することはできません。
- Default Gatewayは [Control Port Configuration] または [Maintenance Port Configuration] のどちらか 一方でのみ設定してください。

表 3.22 ネットワーク情報の指定

表示/入力項目	説明
LAN Settings	ポートを有効にする場合は、[Enable] チェックボックスをオンにします。
MAC Address	MACアドレスが表示されます。
IPv4 Address	IPアドレスをxxx.xxx.xxx.xxxの形式で指定します。xxxは0から255までの値です。
Subnet Mask	サブネットマスクをxxx.xxx.xxxの形式で指定します。xxxは0から255まで
	の値です。
Default Gateway	デフォルトゲートウェイのIPアドレスをxxx.xxx.xxxの形式で指定します。
	xxxは0から255までの値です。

2. [Apply] ボタンをクリックします。

実行確認ダイアログボックスが表示されます。

備考

- 現在設定されているネットワーク情報に戻す場合は、[Apply] ボタンの代わりに[Reset] ボタンをク リックします。
- 3. [OK] ボタンをクリックします。

現在のセッションが切断され、再ログインを促す画面が表示されます。

[Network Settings] 画面では、以下が表示されます。

表 3.23 [Network Settings] 画面の表示項目

表示項目	表示内容
LAN Settings	ポートの有効/無効が表示されます。ポートが有効な場合は、[Enable] チェッ
	クボックスがオンになります。
MAC Address	MACアドレスが表示されます。
IPv4 Address	IPアドレスが表示されます。
Subnet Mask	サブネットマスクが表示されます。
Default Gateway	デフォルトゲートウェイのIPアドレスが表示されます。

3.4.4 Time Settings

[Time Settings] 画面では、FX700本体装置に設定されている日付および時刻を確認したり変更したりできます。

🗲 🔿 🏉 http:	/localhost:4567/index.html	- c	□ × 0 2 ☆ @
FUITSU	FX700 xxx-C0100 S/N : TEST00000000 Chassis : Normal, Power On Node : N	Normal	
Server Status S	ystem Event Logs Power Control Configuration Maintenance User	Ô hpcadmin (Administrator) CRefresh	Logout HELP
Time Settin	gs		
Here you can view a	nd modify the device's Date & Time settings.		
Date:	February V 10 V 2019 V		
Time: (hh:mm:ss)	02 06 30		
Timezone:	Tokyo 🗸		
 Automatica 	ly synchronize Date & Time with NTP Server		
NTP Server1:	10.26.10.37		
NTP Server2:	192.168.1.251		
NTP Server3:	0.0.0		
		Apply R	Reset

図 3.13 [Time Settings] 画面

[Time Settings] 画面では、以下の操作ができます。

表 3	3.24	[Time	Settings]	画面の	操作項目
-----	------	-------	-----------	-----	------

操作項目	説明
Apply	日時設定情報を変更します。手順は「日時設定情報を変更する」を参照してく
	ださい。
Reset	現在設定されている日時設定情報に戻します。

日時設定情報を変更する

1. [Date:]、[Time:]、[Timezone:] などの各項目を指定します。

表 3.25 日時設定情報の指定

入力項目	説明
Date:	月、日、年の順で日付を指定します。
Time:	時、分、秒の順で時刻を指定します。

表 3.25 日時設定情報の指定(続き)

入力項目	説明
Timezone:	タイムゾーンを指定します。
Automatically synchronize Date &	NTPサーバへの自動同期を設定する場合は、チェックボックスをオンにします。
Time with NTP Server	チェックボックスをオンにすると、[NTP Server1:] ~[NTP Server3:] が表示さ
	れます。
NTP Server1:	NTPサーバのIPアドレスを指定します。
NTP Server2:	NTPサーバを設定しない場合は「0.0.0.0」を指定します。
NTP Server3:	

2. [Apply] ボタンをクリックします。

確認ダイアログボックスが表示されます。

備考

- 現在設定されている日時設定情報に戻す場合は、[Apply] ボタンの代わりに[Reset] ボタンをクリックします。
- 3. [OK] ボタンをクリックします。

日時情報が設定され、[Time Settings] 画面に戻ります。

[Time Settings] 画面では、以下が表示されます。

表示項目	表示内容
Date:	月、日、年の順で日付が表示されます。
Time:	時、分、秒の順で時刻が表示されます。
Timezone:	タイムゾーンが表示されます。
Automatically synchronize Date &	NTPサーバへの自動同期が設定されている場合、チェックボックスがオンに
Time with NTP Server	なっています。また、[NTP Server1:] ~ [NTP Server3:] が表示されます。
NTP Server1:	NTPサーバのIPアドレスが表示されます。
NTP Server2:	
NTP Server3:	

表 3.26 [Time Settings] 画面の表示項目

3.4.5 SNMP Trap Settings

[SNMP Trap Settings] 画面では、SNMP Trapの設定内容を確認したり変更したりできます。

) () ()	http	o:// localhost :4567/index.ht	ml	5 - Q	<i>ể</i> FX700 BM	MC ×		- □ ☆ ☆
IJĨTS	U	FX700 xxx-C0	100 S/N	: TEST00000000 Chassi	s : Normal, I	Power On Node : Norm	al	
ver Statu	\$	System Event Logs P	ower Cont	rol Configuration Ma	intenance	B User	npcadmin (Administrator) CRefr	esh 📑 Logo
имр т	Tap	o Settings						
nage SNM	IP Tra	ap settings of the device.						
ap Dest Modify	No	IP Address	SNMP Version	Commnunity/User	Auth	Auth passphrase Auth passphrase (confirm)	Priv passphrase Priv passphrase (confirm)	
	1	10.24.10.133	1 🗸	public	noauth 🗸			
	2	10.24.10.134	3 🗸	test	auth 🗸			
	3		1 🗸		noauth 🗸			
	4		1 🗸		noauth 🗸			
ngine ID)							
Engine II	D	0x800000d305ffeeddccba	987654321	0				

図 3.14 [SNMP Trap Settings] 画面

[SNMP Trap Settings] 画面では、以下の操作ができます。

表 3.27 [SNMP Trap Settings] 画面の操作項目

操作項目	説明
Apply	SNMP Trap設定情報を変更します。手順は「SNMP Trap設定情報を変更する」
	を参照してください。
Reset	現在設定されているSNMP Trap設定情報に戻します。
Test Trap	設定されているすべてのTrap送信先にTest Trapを送信します。手順は、「Test
	Trapを送信する」を参照してください。

SNMP Trap設定情報を変更する

- 1. 設定情報を変更する送信先のチェックボックスをオンにします。
- 2. [Community/User]、[IP Address]、[SNMP Version] などの各項目を指定します。

入力項目	説明
IP Address	SNMP Trap送信先のIPアドレスをxxx.xxx.xxxの形式で指定します。xxxは0
	から255までの値です。
SNMP Version	SNMP Versionを指定します。

表 3.28 SNMP Trap設定情報の指定

入力項目	説明
Community/User	- SNMP v1、v2の場合は、SNMP Communityストリングを1~32文字で指定し
	ます。
	- SNMP v3の場合は、User名を1~32文字で指定します。
	- 英数字のみ使用できます。
Auth	セキュリティレベルを指定します。
	- noauth : 認証機能を利用しない
	- auth : 認証機能を利用する
	- priv : 認証機能およびプライバシー機能(データの暗号化)を利用する
Auth passphrase	[Auth] でauthまたはprivを指定した場合、認証用パスワードを8~32文字の英数
	字または以下の文字で指定します。
	! " # \$ % & ' () = - ^ ~ ¥ @ ` [] { } : * ; + ? < . > , / _
Auth passphrase (confirm)	[Auth passphrase] と同じ認証用パスワードを指定します。
Priv passphrase	[Auth] でprivを指定した場合、暗号化用パスワードを8~32文字の英数字または
	以下の文字で指定します。
	! " # \$ % & ' () = - ^ ~ ¥ @ ` [] { } : * ; + ? < . > , / _
Priv passphrase (confirm)	[Priv passphrase] と同じ暗号化パスワードを指定します。

表 3.28 SNMP Trap設定情報の指定 (続き)

入力項目	説明
Engine ID	16進数表記で、先頭に"0x"を付けた32文字以内で指定してください。また、
	SNMPv3仕様に従って「"0x"+"先頭bit1を付与した企業番号(16進数8文字)"
	+"識別番号"+"ユニークな値(16進数で最大20文字以内)"」を指定してください。
	<企業番号>
	Internet Assigned Numbers Authority(IANA)のenterprise numberを示します。
	企業番号が211(16進数表記で0x00000d3)の場合、先頭1bitを付与した"
	0x800000d3"を指定してください。
	103」または105」を指定します。
	ヽユーークな値// 満別番号によって思たします
	ユーーフな値は、諏別留ちにようて異なりまり。 「03」の提合・MACマドレスを指定します。BMCの制御LANIポートのMACマ
	= 105] の場合、MAC アドレスを指定します。 $= MAC の 間面にの 間面に ANA 「 = 100 MAC アドレス (コロン()を除く 12文字)を使用することを推得します。 = MAC アドレス(+)$
	PDC(コロン()を除く (2)()を使用することを提供します。 Mino アイレスは、 BMC Web画面の [Configuration] - [Network Settings] から確認できます。
	します。
	- 16進数表記以外の英字は設定しないでください。
	入力例を以下に示します。
	- MAC Address(例:1A:2B:3C:4D:5E:6F)を指定する場合は、
	「0x800000d3031a2b3c4d5e6f」を入力する
	- 任意の値(例:0xffeeddccba9876543210)を指定する場合は、
	「0x800000d305ffeeddccba9876543210」を入力する

表 3.28 SNMP Trap設定情報の指定(続き)

備考

- 既存のSNMP Trap設定情報を無効にする場合は、「IP Address」を削除します。

3. [Apply] ボタンをクリックします。

確認ダイアログボックスが表示されます。

備考

- 現在設定されているSNMP Trap設定情報に戻す場合は、[Apply] ボタンの代わりに [Reset] ボタンを クリックします。
- 4. [OK] ボタンをクリックします。

SNMP Trap設定情報が変更され、[SNMP Trap Settings] 画面に戻ります。

Test Trapを送信する

[Test Trap] ボタンをクリックします。
 確認ダイアログボックスが表示されます。

2. [OK] ボタンをクリックします。

設定しているすべてのTrap送信先にTest Trapが送信されます。

[SNMP Trap Settings] 画面では、以下が表示されます。

衣 5.29 [SINIAP Trap Settings] 画面の表示項目	表 3.29	[SNMP Trap Settings] 画面の表示項目	
---------------------------------------	--------	------------------------------	--

表示項目	説明
IP Address	SNMP Trap送信先のIPアドレスが表示されます。
SNMP Version	SNMP Versionが表示されます。
Community/User	SNMP v1、v2の場合はSNMP Communityストリング、SNMP v3の場合はUser
	名が表示されます。
Auth	セキュリティレベルが表示されます。
	- noauth : 認証機能を利用しない
	- auth : 認証機能を利用する
	- priv : 認証機能およびプライバシー機能(データの暗号化)を利用する
Auth passphrase	[Auth] でauthまたはprivを指定した場合、認証用パスワードが表示されます。
Auth passphrase (confirm)	
Priv passphrase	[Auth] でprivを指定した場合、暗号化用パスワードが表示されます。
Priv passphrase (confirm)	
Engine ID	Engine IDが表示されます。

3.4.6 SSL Certificate Configuration

[SSL Certificate Configuration] 画面では、インストールされているSSL証明書の登録内容を確認できます。 また、外部機関によって発行されたSSL証明書をアップロードすることもできます。 注意

- デフォルト状態では、BMCにhttps接続できません。http接続によって、BMCでSSL証明書をアップ ロードすることで、https接続が可能になります。 図 3.15 [SSL Certificate Configuration] 画面の [Upload SSL] タブ

A http://local	host:4567/index.ł	html	Q	- C 🏾 🖉 EX700 BM	с ×		
2 2							00 00
IJITSU	FX700 xxx-C	C0100 S/N : TH	EST00000000 0	Chassis : Normal, P	ower On Node :	Normal	
or Status Svetor	n Evont Loge	Power Control	Configuration	Maintonanco	lleor	hpcadmin (Administrato	r) 🤇 Refresh 📑 Lo
er status system	r Lvent Logs	Power control	Configuration	maintenance	USGI		
L Certificate	Configurat	tion					
page is used to config	ure SSL certificate i	into the BMC. Usin	g this, the device ca	an be accessed in a sec	ured mode. Upload S	SL option is used to upload th	e certificate and priva
ile into the BMC. View	SSL option is used	to view the upload	ed SSL certificate i	n readable format.			
Upload SSL	View SSL						
Current Certificate		Tue Feb 26 09:5	58:12 2019	1			
New Certificate				参昭			
Current Privacy Ke	v	Tue Feb 26 09:	58:12 2019	2240			
New Privacy Key	,						
				P			
							Upload

[SSL Certificate Configuration] 画面の [Upload SSL] タブでは、以下の操作ができます。

表 3.30 [SSL Certificate Configuration] 画面の [Upload SSL] タブでの操作項目

操作項目	説明
Upload	SSL証明書をアップロードします。手順は「SSL証明書をアップロードする」
	を参照してください。

SSL証明書をアップロードする

1. [Upload SSL] タブをクリックし、[New Certificate] および [New Privacy Key] にファイルを指定します。

表示/入力項目	説明
Current Certificate	現在適用されている証明書のファイルのタイムスタンプが表示されます。
New Certificate	アップロードする証明書のファイル(拡張子:.pem)を指定します。
Current Privacy Key	現在適用されている証明書に使用する秘密鍵のファイルのタイムスタンプが表
	示されます。
New Privacy Key	アップロードする証明書に使用する秘密鍵のファイル(拡張子:.pem)を指
	定します。

表 3.31 [Upload SSL] タブの表示項目

2. [Upload] ボタンをクリックします。

確認ダイアログボックスが表示されます。

3. [OK] ボタンをクリックします。

```
アップロードしたSSL証明書を反映するため、ログアウトされます。
```

[SSL Certificate Configuration] 画面の [View SSL] タブでは、以下が表示されます。

図 3.16 [SSL Certificate Configuration] 画面の [View SSL] タブ

Ver Status System Event Logs Pow SL Certificate Configuration SL Certificate into the wide of the state	er Control Configuration e BMC. Using this, the device c entificate in readable format. CE3321F0D93F EWithRSAEncryption	Maintenanc	e User	SSL option is used to up	P hpcadmin (Administrator) ⊂ Refresh ■
Version 1 Science System Event Logs Power Science Science Science Science Science Science Upload Science View SSL Science Science 1 Serial Number CECC Signature Algorithm sha25 Public Key (2048 Ssued From 1	er Control Configuration e BMC. Using this, the device c ertificate in readable format. CE3321F0D93F EWithRSAEncryption	Maintenano	e User	SSL option is used to up	⁶ hpcadmin (Administrator) ⊂ Refresh [®] i
Yer Status System Event Logs Pow SL Certificate Configuration SL certificate into the sSL option is used to view the uploaded SSL Upload SSL View SSL Basic Information 1 Version 1 Serial Number CECC Signature Algorithm sha25 Public Key (2048	e BMC. Using this, the device c entificate in readable format. CE3321F0D93F 6WithRSAEncryption	Maintenand	e USer	SSL option is used to up	load the certificate and private key file into the E
SL Certificate Configuration a page is used to configure SSL certificate into the vSL option is used to view the uploaded SSL Upload SSL View SSL Basic Information Version 1 Serial Number CECC Signature Algorithm sha25 Public Key (2048 ssued From		an be accessed in	a secured mode. Upload	SSL option is used to up	load the certificate and private key file into the E
page is used to configure SSL certificate into the vSL option is used to view the uploaded SSL Upload SSL View SSL Basic Information Version 1 Serial Number CECC Signature Algorithm sha25 Public Key (2048 Ssued From	e BMC. Using this the device c entificate in readable format. CE3321F0D93F 6WithRSAEncryption	an be accessed in	a secured mode. Upload	SSL option is used to up.	load the certificate and private key file into the E
page is used to configure SSL certificate into th w SSL option is used to view the uploaded SSL Upload SSL View SSL Basic Information Version 1 Serial Number CECC Signature Algorithm sha25 Public Key (2048 ssued From	e BMC. Using this, the device c entificate in readable format. CE3321F0D93F 6WithRSAEncryption	an be accessed in	a secured mode. Upload	SSL option is used to up	load the certificate and private key file into the E
Upload SSL View SSL Basic Information Version 1 Serial Number CECC Signature Algorithm sha25 Public Key (2048 Ssued From	CE3321F0D93F 6WithRSAEncryption				
Upload SSL View SSL Basic Information Version 1 Serial Number CECC Signature Algorithm sha25 Public Key (2048 ssued From	CE3321F0D93F 6WithRSAEncryption				
Basic Information 1 Version 1 Serial Number CECC Signature Algorithm sha25 Public Key (2048 ssued From	CE3321F0D93F SWithRSAEncryption				
Version 1 Serial Number CECC Signature Algorithm sha25 Public Key (2048 ssued From	CE3321F0D93F 6WithRSAEncryption				
Serial Number CECC Signature Algorithm sha25 Public Key (2048 ssued From	CE3321F0D93F 6WithRSAEncryption				
Signature Algorithm sha25 Public Key (2048 ssued From	6WithRSAEncryption				
Public Key (2048					
ssued From	DIL)				
ssued From					
Common Name(CN) FUJITSU HPC					
rganization(O) FUJITSU LIMITED					
Organization Unit(OU) FUJITSU HPC					
City or Locality(L) KAWASAKI					
State or Province(S1) KANAGAWA					
Country(C) JP					
Email Address					
Validity Information					
Valid From Feb 1	04:28:19 2016 GMT				
Valid To Feb 7	04:28:19 2026 GMT				
could To					
Common Name(CN) FILIIT	SU HPC				
Organization(O) FILIIT	SULIMITED				
Organization Unit(OU) FUJIT	SU HPC				
City or Locality(L) KAWA	SAKI				
State or Province(ST) KANA	GAWA				
Country(C) JP					

表 3.32 [SSL Certificate Configuration] 画面の [View SSL] タブでの表示項目

表示項目	説明
Basic Information	X.509の基本情報が表示されます。
	- Version : バージョン
	- Serial Number:シリアル番号
	- Signature Algorithm:公開鍵アルゴリズム
	- Public Key:発行要求者の公開鍵

表示項目	説明
Issued From	発行要求者の情報が表示されます。
	- Common Name (CN):サイト名
	- Organization (O):部門名
	- Organization Unit (OU):組織名
	- City or Locality (L):市町村名
	- State or Province (ST):都道府県名
	- Country (C):国名
	- Email Address:メールアドレス
Validity Information	有効期間情報が表示されます。
	- Valid From:有効期間開始
	- Valid To:有効期間終了
Issued To	発行者の情報が表示されます。
	- Common Name (CN):サイト名
	- Organization (O):部門名
	- Organization Unit (OU):組織名
	- City or Locality (L):市町村名
	- State or Province (ST):都道府県名
	- Country (C):国名
	- Email Address:メールアドレス

表 3.32 [SSL C	ertificate Configuration]	画面の [View SSL]	タブでの表:	示項目 (続き)
---------------	---------------------------	----------------	--------	----------

3.5 Maintenance

このカテゴリーでは、FX700本体装置の保守に関する機能が提供されます。

3.5.1 Maintenance

[Maintenance] 画面では、FX700本体装置全体またはFRU単位で、保守部品を交換する際に保守状態に移 行したり、保守状態を解除したりします。

\sim					1			
Ð) <i> (</i> http	://localhost:4	567/index.html		୍ନ ଟ 🖉 FX7	00 BMC ×		6) ť
2	TCLI	FX7	00 xxx-C010	00 S/N : TEST0000	00000 Chassis : Norr	nal, Power On Node	Normal	
JI	130							Warm Mainten
	-	Custom Fran	til anna an Dau				🛱 hpcadmin (Administ	rator) CRefresh 🖿 Lo
er St	tatus	System Even	t Logs Pow	ver Control Config	juration Maintenan	ce User		
aint	enano	ce						
1955	is Maint	tenance (Co	ld Maintena	nce)				
	haasia Ma			ice)				
0	anassis ivia	antenance (Coi	u Maintenance)					
N UN	laintena	ance						
	CMU#	Error Status	Power Status	Maintenance Status	Power Control			
	00	Normal	On	-	(Not specified) 🗸			
0	01	Normal	On	-	(Not specified) 🗸			
	02	Normal	On	-	(Not specified) 🗸			
0	03	Alarm	On	-	(Not specified) 🗸			
		1						
SU M	laintena	ince	D 01.1					
	PS0#	Normal		Maintenance Status	Power Control			
	01	Warning	01	01	(Not specified) V			
	07	Nermal	01	UII	(Not opposited) >4			
	02	NOITIIAI	UI	-	(Not specified) V			
NU	Mainter	nance						
	FANU#	Error Status	Power Status	Maintenance Status	Power Control			
\bigcirc	00	Normal	-	-	(Not specified) V			
0	01	Normal	-	-	(Not specified) 🗸			
\bigcirc	02	Normal	-	-	(Not specified) 🗸			
0	03	Normal	-	-	(Not specified) 🗸			
						Enter Maintenance	Exit Maintenance	Start Power Contro

[Maintenance] 画面では、以下の操作ができます。

表 3.33 [Maintenance] 画面の	操作項目
--------------------------	------

操作項目	説明
Enter Maintenance	保守状態に移行します。手順は「保守状態に移行する」を参照してください。
Exit Maintenance	保守状態を解除します。手順は、「保守状態を解除する」を参照してください。
Power Control	保守状態であるCMUまたはPSUの電源操作指示を実行します。手順は、「電源
	操作を実行する」を参照してください。

保守状態に移行する

1. 保守状態にするFX700本体装置またはFRUのラジオボタンをオンにします。

注意

- 保守状態に移行するためにオンにできるラジオボタンは、[Chassis Maintenance (Cold Maintenance)]、[CMU Maintenance]、[PSU Maintenance]、[FANU Maintenance] のいずれかで1つだけです。
- 停止状態での部品交換は、Chassis Maintenance (Cold Maintenance) を選択してください。Node稼

働状態での活性交換は、それぞれのFRUのラジオボタンを選択してください。

2. [CMU Maintenance] または [PSU Maintenance] のラジオボタンをオンにした場合は、必要に応じて [Power Control] で電源操作を指定します。

表	3.34	[Power Control]	での操作
	0.0.	[

入力項目	説明
CMU Maintenance	CMUへの電源操作を指定します。
	- Both Node Off
	- Both Node On
	- (Not Specified)
PSU Maintenance	PSUへの電源操作を指定します。
	- PSU Off
	- PSU On
	- (Not Specified)

注意

- FANUで故障が発生している場合、CMUのメンテナンスモードは設定できません。FANU交換を先 に実施してください。詳しくは、『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 アップグレード& メンテナンスマニュアル』の「4.1.3 メンテナンスモードの注意事項」を参照してください。
- 3. [Enter Maintenance] ボタンをクリックします。

保守状態に移行します。

電源操作を実行する

- 1. 「保守状態に移行する」を参照して、保守状態に移行します。
- 2. [Start Power Control] ボタンをクリックします。

確認ダイアログボックスが表示されます。

3. [OK] ボタンをクリックします。

電源操作が実行されます。

保守状態を解除する

- 1. 保守作業後に、[Refresh] ボタンをクリックして画面の表示を更新します。
- 2. [Exit Maintenance] ボタンをクリックします。

保守状態が解除されます。

[Maintenance] 画面では、以下が表示されます。

表 3.35 [Maintenance] 画面の [CMU Maintenance] での表示項目

表示項目	表示内容
CMU#	CMU番号が表示されます。

表示項目	表示内容
Error Status	CMUの故障状態が表示されます。
	- Normal
	- Warning
	- Alarm
	- EAlarm
	- Not-Present
	- Unknown(Error Statusの取得失敗)
Power Status	CMUの電源状態が表示されます。
	- On
	- Off
	- Unknown(Power Statusの取得失敗)
Maintenance Status	保守設定状態が表示されます。
	- On:Warm Maintenance中
	:上記以外
	- Unknown:Maintenance Statusの取得失敗
Power Control	保守状態が設定されたCMUへの電源操作指示が表示されます。

表 3.35 [Maintenance] 画面の [CI	/U Maintenance] での表示項目 (続き)
------------------------------	-----------------------------

表 3.36 [Maintenance] 画面の [PSU Maintenance] での表示項目

表示項目	表示内容
PSU#	PSU番号が表示されます。
Error Status	PSUの故障状態が表示されます。
	- Normal
	- Warning
	- Alarm
	- EAlarm
	- Not-Present
	- Unknown(Error Statusの取得失敗)
Power Status	PSUの電源状態が表示されます。
	- On
	- Off
	- Unknown(Power Statusの取得失敗)
Maintenance Status	保守設定状態が表示されます。
	- On:Warm Maintenance中
	: 上記以外
	- Unknown:Maintenance Statusの取得失敗
Power Control	保守状態が設定されたPSUへの電源操作指示が表示されます。

表 3.37 [Maintenance] 画面の [FANU Maintenance] での表示項目

表示項目	表示内容
FANU#	FANU番号が表示されます。

表示項目	表示内容
Error Status	FANUの故障状態が表示されます。
	- Normal
	- Alarm
	- Not-Present
	- Unknown(Error Statusの取得失敗)
Power Status	- (未使用)
Maintenance Status	保守設定状態が表示されます。
	- On:Warm Maintenance中
	: 上記以外
	- Unknown:Maintenance Statusの取得失敗
Power Control	- (未使用)

表 3.37	[Maintenance] 画	『面の [FANU Mainten	ance] での表示項目 (続き)
--------	-----------------	-------------------	-------------------

3.5.2 Firmware Update

[Firmware Update] 画面では、FX700本体装置に適用されているHCPファームウェア、および各ユニット に適用されているバージョンを確認できます。また、HCPファームウェアをFX700本体装置に適用する こともできます。

備考

Firmware Updateは全NodeのRunning StatusがStop状態で実施してください。

(a) (a) (b) (b) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c) (c	67/index.html	5 - Q	@ FX700 BMC	×		- □ <mark>×</mark> 命☆漿
FUJITSU FX70	00 xxx-C0100 S/N	: TEST00000000 Chas	sis : Normal, Power Or	n Node : Norr	nal	
erver Status System Event	Logs Power Con	trol Configuration	laintenance User	ć	hpcadmin (Administrator)	CRefresh Logout
Firmware Update						
Performing Frimware Updatin	g ActionPlease Wait					
HCP Version					_	
Current	U	pdating				
Registered	0:	202				
Current Unit Version					_	
CPU	U	pdating				
BMC	U	pdating				
SBC	U	pdating				
IPF	U	pdating			-	
Select a firmware file.						
	参照					
					R	egister Apply
						,

図 3.18 [Firmware Update] 画面

[Firmware Update] 画面では、以下の操作ができます。

表 3.38 [Firmware Update] 画面の操作項目

操作項目	説明
Register	HCPファームウェアを登録します。手順は「HCPファームウェアを登録する」
	を参照してください。
Apply	登録したHCPファームウェアをFX700本体装置に適用します。手順は、「HCP
	ファームウェアを適用する」を参照してください。

HCPファームウェアを登録する

HCPファームウェアはオンラインで入手できます。

- 日本の場合

https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/supercomputer/downloads/

- 海外の場合 https://www.fujitsu.com/global/products/computing/servers/supercomputer/documents/
- 1. [Select a firmware file.] に、登録するHCPファームウェアファイルを指定します。
- 2. [Register] ボタンをクリックします。

確認ダイアログボックスが表示されます。

3. [OK] ボタンをクリックします。

HCPファームウェアが登録され、[Firmware Update] 画面に戻ります。

HCPファームウェアを適用する

- 1. 「HCPファームウェアを登録する」を参照して、HCPファームウェアを登録します。
- 2. [Apply] ボタンをクリックします。

確認ダイアログボックスが表示されます。

3. [OK] ボタンをクリックします。

HCPファームウェアが適用されるため、セッションが切断されてログアウトされます。 注意

ファイル破損など不正なHCPアーカイブをアップロードした場合、メッセージが表示されます。
 ファームウェア登録手順をはじめからやり直してください。詳しくは、『FUJITSU Supercomputer
 PRIMEHPC FX700 アップグレード&メンテナンスマニュアル』の「4.2.3 アップデート時の注意
 事項」を参照してください。

HCPファームウェア適用を確認する

HCP Versionのcurrent欄のHCPファームウェアの総合版数が更新されたことを確認します。

- 1. ファームアップ時間は20分程度かかります。その間、Web GUIのセッション切断が何度か起こります。
- HCP Versionのcurrent欄のHCPファームウェアの総合版数が登録したHCP版数となっていれば完了 です。

[Firmware Update] 画面では、以下が表示されます。

表示項目	表示内容
Current	適用され、稼働しているHCPファームウェアの総合版数が表示されます。
Registered	登録され、適用可能なHCPファームウェアの総合版数が表示されます。
CPU	CPUに適用されているファームウェアの版数が表示されます。
BMC	BMCに適用されているファームウェアの版数が表示されます。
SBC	SBCに適用されているファームウェアの版数が表示されます。
IPF	IPFに適用されているファームウェアの版数が表示されます。

表 3.39 Firmware Update 画面の表示」	貝目
---------------------------------	----

注意

- ファームウェア適用が失敗しているときは、登録手順をはじめからやり直してください。詳しくは、 『FUJITSU Supercomputer PRIMEHPC FX700 アップグレード&メンテナンスマニュアル』の「4.2.3 アップデート時の注意事項」を参照してください。

3.5.3 **REMCS**

本メニューを選択すると [REMCS] 画面が表示されます。設定内容は「A.1 REMCSの設定」を参照して ください。

□接続形態設定	→ □環境設定 → □お客様情報設定 → □レジストレーション → □接続確認
	<u>REMOSメニューの終了</u>
	お客様登録のご案内
	本メニューにしたがって必要事項を入力することにより、お客様の情報と、装置 の構成情報(ハードウェアノフラトウェア)を弊社リモート顧客サポートセンター 「REMCSゼンター」に送付登録いたします(レジストレージョンと呼びます)。 登録情報(は、討客様のハードウェアカまびソフトウェアのサポート、新製品のご 案内、製品が選のために使用させていただきます。 この情報に満つ者のために使用させていただきます。 送付されます。
	上記の方針にご聞向いただける場合、「次へ」ボタンを押して、レジストレーション にお進みください。 次へ
装置ID	設定未完了 インターネット接続メールのみ)

図 3.19 [REMCS] 画面

3.5.4 REMCS Detail Setup

本メニューを選択すると [REMCS Detail] 画面が表示されます。設定内容は「A.2 REMCS Detail Setup」を参照してください。



図 3.20 [REMCS Detail] 画面

3.6 User

このカテゴリーでは、ユーザー登録情報を表示したり変更したりする機能が提供されます。

3.6.1 Modify User

[Modify User] 画面では、ログインしているユーザーの登録情報を確認したり変更したりできます。 備考

- [Modify User] 画面は、Operator/User権限のアカウントでログインしているときに表示されます。

义	3.21	[Modify	User]	画面
---	------	---------	-------	----

					- □	×
Http://localho	st:4567/index.html	,O - C 🦉 FX700 BMC	×		សិរ	2 23
FUJITSU	FX700 xxx-C0100 S/N : TES	T00000000 Chassis : Normal, Po	wer On Node : Normal			
				🖁 hpcipmi (User)	CRefresh	Logout
Server Status System E	Event Logs Power Control	Configuration Maintenance U	ser			HELP
Modify User						
This page allows the user to c	hange the name and the password for	the login user account.				
	Change Name					
Username	hpcipmi					
	Change Password					
Password Size	I6Bytes	20Bytes				
Password						
Confirm Password						
User Access	Enable					
				N	lodify Res	et

[Modify User] 画面では、以下の操作ができます。

表 3.40 [Modify User] 画面の操作項目

操作項目	説明
Modify	ログインしているユーザーの登録情報を変更します。手順は「ユーザーの登録
	情報を変更する([Modify User] 画面)」を参照してください。
Reset	ユーザーの登録情報を現在設定されているものに戻します。

ユーザーの登録情報を変更する([Modify User] 画面)

注意

- [User Access] は変更できません。

入力/表示項目	説明
Change Name	ユーザー名を変更する場合は、 [Change Name] チェックボックスをオンにします。
UserName	新しいユーザー名を1~16文字で指定します。入力時に元のユーザー名が表示
	されている場合は、削除します。
Password Size	変更するパスワードの長さを [16 Bytes] または [20 Bytes] で指定します。[20
	Bytes] ラジオボタンをオンにした場合、IPMIでの通信でlanplus接続が必須に
	なります。
Password	- パスワードを7文字以上で指定します。
	- [Password Size] で [16 Bytes] ラジオボタンをオンにした場合は、パスワード
	の最大文字数は15文字です。[20 Bytes] ラジオボタンをオンにした場合は、
	パスワードの最大文字数は19文字です。
Confirm Password	[Password] と同じパスワードを指定します。
User Access	[Enable] チェックボックスがオンの状態で表示されます。

表 3.41 ユーザー登録情報の変更	([Modify Use	r] 画面)
--------------------	--------------	--------

1. [Modify] ボタンをクリックします。

確認ダイアログボックスが表示されます。

2. [OK] ボタンをクリックします。

[Modify User] 画面に戻ります。

備考

- ユーザー名を変更した場合は、セッションが切断され、再ログインを促す画面が表示されます。

[Modify User] 画面では、以下が表示されます。

|--|

表示項目	表示内容	
Username	ユーザー名が表示されます。	
User Access	ユーザーアクセスの状況がEnabledで表示されます。	

3.6.2 One Time Password

[One Time Password] 画面では、BMCファームウェアにroot権限で一時的にログインするためのショート パスワードを発行できます。

注意

- ショートパスワードを発行するためには、ロングパスワード発行権限保有者が発行したパスワードが 必要です。最寄りのFujitsuサービスセンターにお問い合わせください。

			_	ិ hpcadmin (Administrator) CRefresh 🕨L
er Status System Event Logs Pow	er Control Configu	ration Maintenance	User		
e Time Password					
e you can generate short one time password. se Input long one time password.					
Long Password input area					
			^		
			\sim		
Generated Password					
			$\hat{}$		
			v		
					Generat
					Genera

図 3.22 [One Time Password] 画面

[One Time Password] 画面では、以下の操作ができます。

表 3.43 [One Time Password] 画面の操作項目

操作項目	説明
Generate	ショートパスワードを発行します。手順は「ショートパスワードを発行する」
	を参照してください。

ショートパスワードを発行する

本機能は、保守担当者のみ使用します。Operator権限のユーザーは使用しないでください。

1. [Long Password input area] にロングパスワード発行権限保有者によって発行されたパスワードを入 力し、[Generate] ボタンをクリックします。

ショートパスワードが発行され、[Generated Password] に表示されます。

表	3.44	ショート	・パスワー	ドの発行
_				

入力項目			
Long Password input area	ロングパスワード発行権限保有者によって発行されたパスワードを指定します。		

第4章 コマンドサポート (IPMI)

本章では、BMCが受け付けるリクエスト(コマンド)、コマンドの機能、およびRequest/Responseデー タフォーマットを説明します。 管理クライアントから入力されたコマンドは、LAN経由でBMCに送付されます。

4.1 コマンドー覧表

ここでは標準コマンドを説明します。 備考 レスポンスは常に、受け付けられたリクエストのインターフェイスに対して送出されます。

4.1.1 Get Chassis Status (NetFN:00h, CMD:01h)

本コマンドが各Node(Node#0~Node#7)に対して発行された場合は、各Nodeの電源状態を返します。一方、Chassis-BMCに対して発行された場合は、Chassis(PSU/FAN)の電源状態を返します。

	Byte	Data Field	
Request Data	-	-	
Response Data	1	Completion Code	
	2	Current Power Status	
		[7] reserved	
		[6:5] power restore policy 00b = 復電後、Power Off 状態を維持する。	
		[4] power control fault 1b = 期待通りの電源状態にならなかった場合 0b = 正常	
		[3] power fault 1b = 電源異常を検出した場合 0b = 正常	
		[2] 1b = interlock 状態のためシャットダウン 0b = interlock 状態ではない	
		[1] Power overload 1b = power overload 状態のためシャットダウン 0b = power overload 状態ではない	
		[0] Power is on 1b = system power is on 0b = system power is Off	
	3	Last Power Event	
		[7:5] reserved	
		[4] 1b = Power is on (IPMI コマンドによる)	
		[3] 1b = Power down(電源異常による)	
		[2] 1b = Power down (power interlock 状態による)	
		[1] 1b = Power down (power overload 状態による)	
		[0] 1b = AC failed	
	4	Misc. Chassis State	
		[7:4] reserved	
		[6] 1b = Chassis Identify command サポート	
		[5:4] Chassis LED State 00b = Off 01b = On(一定時間) 10b = On(不定) 11b = reserved	
		[3] 1b = FAN 異常を検出した場合	
		[2] 1b = ドライブ異常を検出した場合	
		[1] 1b = Chassisの強制Power Off/Resetボタンが無効	
		[0] 1b = Chassis intrusion active	
	(5)	Front Panel Button Capabilities and disable/enable status (Option)	

表 4.1 Get Chassis statusフォーマット

4.1.2 Chassis Control (NetFN:00h, CMD:02h)

Nodeに対して、Power On/Offを行います。

本コマンドは、Power On/Offの指示を発行するのみで、Power On/Off処理は突き離しで実行されます。 宛先がChassisの場合は、未サポート(Completion Code: C1h)を応答します。

	Byte	Data Field
Request Data	1	[7:4] reserved [3:0] chassis control $0h = Power down$ $1h = Power up$ $2h = Power cycle (\pm \# \# - F)$ $3h = Hard reset$ $4h = Pulse Diagnostic Interrupt$ $5h = Initiate a soft-shutdown$
Response Data	1	6h-Fn = reserved Completion Code

表 4.2 Chassis Control フォーマット

4.1.3 IPMI標準コマンド一覧表

ここでは、IPMI標準コマンド一覧表を示します。

表	4.3	Chassis Deviceコマンド一覧	ŧ
---	-----	----------------------	---

Command	同期	CMD	Privilege	ターゲット(*1)	
				Chassis	Node
Get Chassis Status	同期	01h	User	サポート	サポート
Chassis Control	非同期	02h	User	サポート	サポート

*1: 発行可能対象

ターゲット指定方法

ipmiコマンドの-tオプションでターゲットの指定が可能です。

-t <target>

target指定可能オプション

- 0x20 Chassis
- 0x30 Node#0
- 0x32 Node#1
- 0x34 Node#2
- 0x36 Node#3
- 0x38 Node#4
- 0x3a Node#5
- 0x3c Node#6
- 0x3e Node#7
付録 A REMCS

この付録では、REMCSの設定について説明します。

A.1 REMCSの設定

⚠注意

お客様情報の入力について

お客様情報をREMCSセンターに登録すると、お客様宛に「登録完了」の通知がメールと封書で送られます。お客様情報は、お客様とのトラブルを回避するために、必ずお客様に確認したうえで入力してください。

A.1.1 環境の準備

ここでは、REMCSセンターと接続してサービスを開始するために必要な環境および条件について説明します。

A.1.1.1 REMCSセンターと接続するための条件

お客様の装置をREMCSセンターに接続するためには、以下の条件を満たしている必要があります。

■ インターネット接続の場合

- お客様の装置がインターネットに接続可能な環境にあること
- インターネットへのメール送信が可能であること

注意

- お客様のネットワーク環境によっては、インターネットへのメール送信に許可が必要な場合がありま す。詳細については、お客様のネットワーク管理者に確認してください。

備考

- ファイアウォールなどのセキュリティ機構については、必要に応じてお客様自身で準備していただく 必要があります。

A.1.1.2 設定の準備

■ ネットワーク関連情報の準備

お客様の装置を設定したりREMCSエージェントをセットアップしたりするためには、表 A.1に示すネットワーク関連情報が必要です。

注意

- 設定内容は、お客様が使用しているネットワーク環境によって異なります。

項目		内容				
シス	テム(装置)の設定					
1	IPアドレス	装置のIPアドレス				
		- サブネットマスク				
		- デフォルトゲートウェイ				
2	ドメインネームシステム (DNS)	ネットワークコンピューター名(ホスト名)の解決に使用するDNSサー				
		バの設定				
		- 装置自体のホスト名、ドメイン名				
		- DNSサーバのIPアドレス				
REM	REMCSエージェントの設定					
1	メール (SMTP) サーバ	REMCSエージェントがメールを送信する場合に使用するメールサーバの				
		ホスト名、ドメイン名(またはIPアドレス)				
2	通信用メールアドレス	REMCSエージェントがメールを送信する場合に使用するメールアドレス				
3	管理者用メールアドレス	センターからお客様に情報を提供する場合に使用するメールアドレス				

表 A.1 インターネット接続の場合

■ その他

- 使用するメールサーバのIPアドレスまたはFQDN
- 送信元メールアドレス(社外発信資格が必要)

備考

- 送信元メールアドレスは、お客様に準備していただくようにしてください。

A.1.2 REMCSの設定

REMCSセンターへの接続環境が用意できたら、REMCSの設定を開始します。

 Web GUIにログインし、[Maintenance] - [REMCS]の順に選択して、REMCSメニューを起動します。 REMCSの設定を完了していない場合、図 A.1に示す [お客様登録のご案内] 画面が表示されます。

□接続形態設定 →	□環境設定 → □お客様情報設定 → □レジストレーション → □接続確認 <u>REMOSメニューの終了</u>
	お客様登録のご案内
	本メニューにしたがって必要事項を入力することにより、お客様の情報と、装置 の構成情報(ハードウェア/ソフリケェア)を逃りモート顧客サポートセンター 「R E MC Sビンタ」」に送付登録いたしまず(レジストレージョンと呼びます)。 登録情報は、お客様のハードウェアおよびソフトウェアのサポート、新製品のご 案内、製品改善のために使用させていただきます。 この情報は第三者には提れいたしません。向、情報は機器内で暗号化された後に 送付されます。 上記の方針にご賛同いただける場合、「次へ」ボタンを押して、レジストレーション にあ進みください。
	(次へ)
装置ID	設定未完了 インターネット接続(メールのみ)

図 A.1 [お客様登録のご案内]画面

2. [お客様登録のご案内] 画面左下の [装置ID] に表示されている内容が、型名および製造号機と一致して いることを確認し、[次へ] ボタンをクリックします。

[接続先REMCSセンターの設定] 画面が表示されます。

図 A.2 [接続先REMCSセンターの設定] 画面

	□接続形態設定 →	□環境設定 →	□お客様情報設定	→ □レジストレーション -	→ □接続確認	
					<u>REMCSメニューの終了</u>	
			接続先REMCS	シャンターの設定		
			REMOSセンター	OSC ¥		
				欠へ		
装置ID				設定未完了	インターネット接続(メールのみ)	

[REMCSセンター] で [OSC] を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。
 [初期設定] 画面が表示されます。

□接続形態設定 →	□環境設定 → □お客様情報設定 → □レジストレーション → □接続確認 REMCSメニューの終了
	初期設定
	ローカルファイルからのインボート
	接続形態 インターネット接続(メールのみ) 🗸
	証明書の入れ替え
環境情 インボー	報、お客様情報をインボートする場合は、「ローカルファイルからのインボート」をクリックしてください。 トしない場合は、接続形態を選択後、「次へ」ボタンをクリックしてください。
	戻る 次へ キャンセル
装置ID	設定未完了 インターネット接続(メールのみ)

図 A.3 [初期設定] 画面

[接続形態]で[インターネット接続(メールのみ)]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。
 [インターネット(メールのみ)接続の環境設定]画面が表示されます。

図 A.4 [インターネット(メールのみ) 接続の環境設定] 画面

■接続形態設定 -	→ □環境設定 → □お客様情報設定 → □レジストレーション → □接続確認	
	<u>REMOSメニューの終了</u>	
	インターネット(メールのみ)接続の環境設定	î
SMTP#-/	SMTPポート番号 25	- 1
暗号化接続の	種類 au V	
発信元E-Mail		- 1
認証タイプ	認証なし	- 1
AUTH SMTP	2証機構 無効 ✔ (【認証タイプ】が【AUTH SMTP】の場合に有効)	- 1
ユーザーID	(【認証タイプ】が【認証なし】以外の場合に入力必須)	- 1
パスワード	(【認証タイプ】が【認証なし】以外の場合に入力必須)	- 1
POPサーバ	(【認証タイプ】が【POP Before SMTP】の場合に入力必須)	- 1
POPボート番号	号 110 (【認証タイプ】が【POP Before SMTP】の場合に入力必須)	- 1
分割方式	イベント分割 🖌	- 1
分割サイズ	512 KB(【分割方式】が【分割なし】以外の場合に入力必須)	- 1
	戻る 次へ キャンヤル	~
装置ID	設定未完了 インターネット接続(メールのみ)	

5. メール送信のための情報を指定します。

入力項目	入力必須	説明
SMTPサーバ	0	SMTPサーバ名またはIPアドレスを半角英数字記号128文字以
		内で指定します。
発信元E-Mail	0	発信元メールアドレスを半角英数字記号128文字以内で指定
		します。

表 A.2 [インターネット(メールのみ) 接続の環境設定] 画面での指定

入力項目	入力必須	説明
認証タイプ	-	認証タイプを以下から選択します。
		- 認証なし
		- POP Before SMTP
		- AUTH SMTP
AUTH SMTP認証機構(*1)	-	AUTH SMTP認証機構を以下から選択します。
		- AUTO(デフォルト)
		- CRAM-MD5
		- PLAIN
		- LOGIN
ユーザーID	△ (*2)	認証サーバのユーザーIDを半角英数字記号64文字以内で指定
		します。
パスワード	△ (*2)	認証サーバのパスワードを半角英数字記号64文字以内で指定
		します。指定した文字は、すべて*(アスタリスク)で表示さ
		れます。
POPサーバ	△ (*3)	POPサーバ名またはIPアドレスを半角英数字記号128文字以
		内で指定します。
分割方式(*4)	-	分割方式を以下から選択します。
		- 分割なし
		- メール分割
		- イベント分割(デフォルト)
分割サイズ	△ (*5)	分割サイズを半角数字3文字以内で指定します。
		- [分割方式] で [メール分割] を選択した場合、10~100 KBの
		範囲で指定します。デフォルトは、64 KBです。
		- [分割方式] で [イベント分割] を選択した場合、64~512 KB
		の範囲で指定します。デフォルトは、512 KBです。
暗号タイプ(*4)	-	暗号タイプを以下から選択します。
		- S/MIME形式(デフォルト)
		- 従来形式
		従来はREMCSファイル形式を作成する過程で暗号化してい
		ましたが、これに代わる形式として一般に普及している
		S/MIMEによる暗号メール方式をサポートしています。

表 A.2 [インターネット(メールのみ)接続の環境設定] 画面での指定(続き)

*1: [認証タイプ] で [AUTH SMTP] を選択した場合に有効になります。

*2: [認証タイプ] で [認証なし] 以外を選択した場合に必須です。

*3: [認証タイプ] で [POP Before SMTP] を選択した場合に必須です。

- *4: 分割方式によって、選択できる暗号タイプが以下のように変わります。
 - 分割なし : 両方選択可能

- メール分割:従来形式のみ

- イベント分割:両方選択可能

*5: [分割方式]で[分割なし]以外を選択した場合に必須です。

6. [次へ] ボタンをクリックします。

[定期接続スケジュール設定] 画面が表示されます。

∎÷	接続形態設定 → □環境設定 → □わ寄様情報設定 → □レジストレーション → □接続確認 <u>REMOSメニューの終了</u>
	定期接続スケジュール設定
	現在、定期接続スケジュールは設定されていません
	周期 毎週 マ 曜日 火曜日マ (【周期】が【毎週】の場合に入力必須) 運用時間 12 時 19 分 ~時分(定期接続時刻は【運用時間】の範囲から無作為に設定) ※運用終了時刻の入力が無い場合、運用開始時刻が定期接続時刻に設定されます。
	戻る 次へ キャンセル
装置ID	設定未完了 インターネット接続メールのみ)

図 A.5 [定期接続スケジュール設定]画面

7. 定期接続のスケジュールを指定します。

入力項目	入力必須	説明
周期	-	周期を以下から選択します。
		- 毎週
		- 毎日
		- 毎日(日曜以外)
		- 毎日(土日以外)
		- 週一回
曜日	-	[周期] で [毎週] または [週一回] を選択した場合、曜日を [日
		曜日] ~ [土曜日] で指定します。
運用開始時刻(時)	0	運用開始時刻の時を0~23の半角数字で指定します。
運用開始時刻(分)	0	運用開始時刻の分を0~59の半角数字で指定します。
運用終了時刻(時)	0	運用終了時刻の時を0~23の半角数字で指定します。
運用終了時刻(分)	0	運用終了時刻の分を0~59の半角数字で指定します。

表 A.3 [定期接続スケジュール設定] 画面での指定

8. [次へ] ボタンをクリックします。

[お客様情報の入力] 画面が表示されます。

				50 00 IT 0117	
				HEMUSXU#0	
	お	客様情報の入	л		
	05	L 10/10/10/00/10	/5		
	※のついてい 半角力+は	る項目は入力必須項目 使用したいでください	目です。		
法人名	*	bomorae recountry is		(会告)	
法人名(力ナ)	*			(全角力切力+)	
部署名			(全角)		
ご住所	*			(全角)	
ビル名称			(全角)		
管理者のお名前	*	(全角)			
管理者のお名前(力:	ナ) ※	(全角力効ナ)		
E-Maiアドレス	*			(英数記号)	
郵便番号		(英数記号)	列。012-3456		
電話番号	*	(数字記号)	列。012-345-6789		
FAX醫号		(数字記号)(列。012-345-6789		
装置ユニーク名			(英数記号)		
国名	※ JP (英字:50	D-3166コード表(A2))			
設置場所				(全角)	
設置場所のビル名称	F		(全角)		
実施者E-Mail				(英裁記号)	
□ 1圖人1時報時期 ※【二社部】も「「約3票」	변화 서리 변수(+ 10	「変換が1た)1 カオス心	(要)+本()+++/		
※[ビル名称]が[語]	置場所のビル名称した	記場合は、【設置場所	のビル名称】を入力する。	必要はありません。	
	展る	次へ	キャンセル		

図 A.6 [お客様情報の入力]画面

9. お客様情報を指定します。

入力項目	入力必須	説明
法人名	0	法人名を全角文字30文字以内で指定します。
法人名(カナ)	0	法人名を全角カタカナ40文字以内で指定します。
部署名	×	お客様の部署名を全角文字20文字以内で指定します。
ご住所	0	お客様の住所を全角文字で指定します。
ビル名称	×	お客様のビル名を全角文字で指定します。
管理者のお名前	0	お客様のサーバ管理者名を全角文字で指定します。
管理者のお名前(カナ)	0	お客様のサーバ管理者名を全角カタカナで指定します。
E-Mailアドレス	0	お客様のサーバ管理者のメールアドレスを半角英数字記号で
		指定します。
郵便番号	×	お客様の会社所在地の郵便番号を半角数字と-(ハイフン)で
		指定します。
		指定できる文字数は、設置国に対応したものになり、定義ファ
		イルで定義されています。定義ファイルで定義されていない
		場合、指定できる文字数は10文字です。
電話番号	0	お客様の電話番号を半角数字記号と-(ハイフン)で指定します。
FAX番号	×	お客様のFAX番号を英数字記号と-(ハイフン)で指定します。
装置ユニーク名	×	お客様固有の名称を半角英数字記号32文字以内で指定します。
		FX700システムに割り当てられるラック番号を指定すること
		を推奨します。
国名	0	国名を英文字2文字で指定します。
		英小文字で指定した場合は、英大文字に変換されます。
		未設定の国には99を指定します。
設置場所	×	設置場所を全角文字で指定します。

表 A.4 [お客様情報の入力] 画面での指定

入力項目	入力必須	説明
設置場所のビル名称	×	設置場所のビル名を全角文字で指定します。
実施者E-Mail	×	CEのメールアドレスを半角英数字記号で指定します。
個人情報削除	×	[CE操作メニュー]の[個人情報削除]で個人情報を削除する場
		合に、チェックボックスをオンにします。オンにすると、以
		下のお客様情報が [個人情報削除] で削除されます。
		- 管理者のお名前
		- 管理者のお名前(カナ)
		- E-Mailアドレス
		- 電話番号
		- FAX番号
		- 実施者E-Mail
		[個人情報削除]の詳細は、「A.2.6 個人情報削除」を参照し
		てください。

表 A.4 [お客様情報の入力] 画面での指定(続き)

10. [次へ] ボタンをクリックします。

[入力情報の確認] 画面が表示されます。

図 A.7 [入力情報の確認] 画面

■接続形編設定 → ■環境設定 → ロお客様幣4編別定 → ロレジ	ストレーション → □接続	82
		REMOSメニューの終了
入力情報の確認	2	
こ人力いけごというたち客体情報ので簡単いかな	いかご確認がさい。	
法人名 第 デスト 法人名(カナ) 第 デスト 部署合 ご告所 第 デスト ビル名称 管理時の42名前 第 デスト		
管理局の各省内ツ 新 テスト Endparty 2017 レス ※ tord 航年登号 ※ 0123 年の進号 ※ 0123 年の進号 第四 こ - 2 (2)	Ptest.com 4567	
国会 クラ 米 JP 経営場所 技営場所のビル名称 実験者E-Mail		
R6 8A	キャンセル	
装置D	設定未完了	インターネット接続(メールのみ)
<		>

11. お客様情報に誤りがないことを確認し、[次へ] ボタンをクリックします。

[情報送信に関する合意事項] 画面が表示されます。

備考

- お客様情報に誤りがあった場合は、[戻る] ボタンをクリックして [お客様情報の入力] 画面に戻り、 お客様情報を修正してください。

■接続形態設定	→ ■環境設定 → ■お客様情報設定 → ロレジストレーション → □接線確認 F <u>BMCSメニューの終了</u>
	情報送信に関する合意事項
	下記の方針にご解問いただける場合、「合意する」ボタンを押下してください。 登録内容をサポートセンターへ送信します。 あ客様登録では、あ客様の情報、ハードウェア、ソフトウェアの構成を弊社REMCSセンターに 送付いたで、ます。 送付いたで、特徴は、各営体の機器及びフトウェアの保一、特別の有限品のご案内、弊社の製品 改善のふめに使わせていただきます。この情報は第三部には提供放しません。 また、情報は機器内で確省 化された後に送付されます。 戻る 会職する キャンセル
) 注墨(T)	初中土中マ (小人-ナット1941) (一川 小人)

図 A.8 [情報送信に関する合意事項] 画面

12. メール送信が可能であることを確認したのち、[合意する] ボタンをクリックします。

入力した情報がREMCSセンターに送られ、[レジストレーション結果] 画面が表示されます。

図 A.9 [レジストレーション結果] 画面

■1菱続	研制設定 → ■環境設定 → ■お客僚情報設定 → ■レジストレーン	aン → □接線確認 F <u>BMCSメニューの終了</u>
	レジストレーション結果	
	レジストレーションに成功しました。	
	度6 次へ キャン	
装置ID	設定未完	了 インターネット接続メールのみ)

13. レジストレーションの実行に成功したことを確認し、[次へ] ボタンをクリックします。

[接続確認] 画面が表示されます。

備考

- レジストレーションの実行に失敗した場合は、[戻る] ボタンをクリックして情報を修正してください。

図 A.10 [接続確認] 画面

■接続形態設定 → ■環境設定 → ■お客様情報設定 → ■レジストレーション → □接続確認 FBMCSメニューの終了
接続確認 REMCSセンターとの接続を確認します。回線によっては、処理が完了するまでに時間がかかる場合があります。
 ・お客様管理者 (test@test.com) への結果通知 ● 通知する。 ○ 通知しばい。 ・実施者への結果通知(お客様管理者以外にも送信する場合に設定してください。) ○ 通知する。(通常形式) ○ 通知する。(携帯電話向け開房形式) ● 通知しばい。 結果通知先E-mail7ドレス
戻る 接続確認 キャンセル
装置D 設定未完了 インターネット接続メールのみ)

14. 接続確認結果の送信先を指定します。

表 A.5 [接続確認]画面での指定

入力項目	入力必須	説明
お客様管理者への結果通知(*1)	-	お客様管理者への結果通知の要否を指定します。デフォルト
		では、[通知する。] がオンになります。
お客様管理者E-Mailアドレス (*2)	×	お客様のサーバ管理者のメールアドレスを半角英数字記号60
		文字以内で指定します。
		[お客様管理者への結果通知] で [通知する。] をオンにしてい
		るにもかかわらず、[お客様管理者E-Mailアドレス]の指定を
		省略した場合は、REMCSセンター登録済みのメールアドレ
		スに結果通知が送信されます。
実施者への結果通知	-	実施者への結果通知の要否を指定します。デフォルトでは、
		[通知しない。] がオンになります。
結果通知先E-Mailアドレス	△ (*3)	実施者のメールアドレスを半角英数字記号60文字以内で指定
		します。

*1: 個人情報を削除していない場合に、[お客様情報の入力] 画面で [E-Mailアドレス] に指定したお客様のサーバ管理者のメールアドレスが表示されます。

*2: [CE操作メニュー]の[個人情報削除]で個人情報を削除した場合に表示されます。

*3: [実施者への結果通知]で[通知する。]をオンにした場合に必須です。

15. [接続確認] ボタンをクリックします。

[接続確認結果] 画面が表示されます。

■接紙	売形態設定 → ■環境設定	→ ■お客様情報設定 → ■レジストレーション	→ ■接続確認	
			<u>REMOSメニューの終了</u>	
		接続確認結果		
		RMG_0058: 接続確認に成功しました。		
		REMCSセンターで確認完了後、実施者あてに 通知メールが送り返されます。		
		87		
		元 1		
装置ID		運用中	インターネット接続メールのみ)	

図 A.11 [接続確認結果] 画面

16. [完了] ボタンをクリックします。

[接続先REMCSセンターの設定] 画面に戻ります。

A.2 REMCS Detail Setup

Web GUIにログインし、[Maintenance] - [REMCS Detail Setup] の順に選択して [REMCS CEメニュー] 画 面を表示します。 REMCS Detail Setupは、[REMCS CEメニュー] 画面の [CE操作メニュー] を使用して実施します。 [CE操作メニュー] のメニューから適切なものを選択することで、接続先REMCSセンターの設定、日本語/ 英語の切替え、環境詳細設定、個人情報削除などができます。

A.2.1 REMCS CEメニュー(初期画面)

図 A.12に、[REMCS CEメニュー] 画面の初期画面を示します。



CE操作メニュー 環境詳細情報 技売先REMCSセンター 日本語/英語切替え 装置名表示の切替え 個人情報訓除 SSL証明書の表示 接続先センターリストの入れ替え	REMCS CEメニュー 実行したい操作項目を左記メニューより選択して下さい
<u>REMOS OEメニューの終了</u>	
< >>	
装置ID	運用中 インターネット接続(メールのみ)

A.2.2 環境詳細情報

[CE操作メニュー]で[環境詳細情報]を選択すると、図 A.13に示す[環境詳細設定画面]が表示されます。

CEI操作メニュー 環境詳細情報 注意時中区MCSセンクー	環境詳細設定画面	^
1283/77/EMS とうめて 日本語(次語な)構成 装置名表示の切聴え 個人情報到除 SS上証明書の表示 接続先センターリストの入れ替え REMCS CEメニューの終了	E-Mail設定 タイムアウト時間 60 砂 リトライ回数 5 リトライ間隔 砂 SMTPサーバ SMTPボート番号 25 暗号付接続の種類 なし マ 認証数定 SMTPボート番号 25 認証タイプ 認証なし マ 認証タイプ 認証なし マ スレイドロ (128証タイプ)が(AUTH SMTP)の場合(に有効) ユーザD (128証タイプ)が(認証なし)以外の場合(に入力必須) パスワード (128証タイプ)が(認証なし)以外の場合(に入力必須) POP設定(【認証タイプ)に[POP Before SMTP]指定時)	
	POPサーバ POP認証後のメール送信待機時間 1000 mme	
	その他 発信元E-Mail 発信元E-Mail	l
	次へ キャンセル	~
装置ID	, 運用中 インターネット接続(メールのみ)	

図 A.13 環境詳細情報

[環境詳細設定画面]では、表 A.6に示す内容を指定します。

衣 A.O 現現計和改正回回 CO11.	表 A.6	[環境詳細設定画面]で(の指定
-------------------------	-------	--------------	-----

入力項目	入力必須	説明
E-Mail設定		
タイムアウト時間	0	メールのタイムアウト時間(秒)を半角数字4文字以内で指
		定します。60~3600の範囲が指定可能です。
リトライ回数	0	メールのリトライ回数を半角数字2文字以内で指定します。
リトライ間隔	0	メールのリトライ間隔を半角数字3文字以内で指定します。
		1~600の範囲が指定可能です。
SMTPサーバ	0	SMTPサーバ名またはIPアドレスを半角英数字記号128文字以
		内で指定します。
SMTPポート番号	0	SMTPサーバのポート番号を半角数字5文字以内で指定します。
		1~65535の範囲が指定可能です。デフォルトでは、25(Well
		Known Port)が使用されます。
暗号化接続の種類	-	定義ファイル(RMG_Menu.def)で表示設定をしている場合、
		SMTP over SSLの暗号化接続の種類を以下から選択します。
		- なし(デフォルト)
		- STARTTLS
		- SSL/TLS
認証設定		
認証タイプ	-	認証タイプを以下から選択します。
		- 認証なし
		- POP Before SMTP
		- AUTH SMTP
AUTH SMTP認証機構(*1)	-	AUTH SMTP認証機構を以下から選択します。
		- AUTO(デフォルト)
		- CRAM-MD5
		- PLAIN
		- LOGIN
ユーザーID	△ (*2)	認証サーバのユーザーIDを半角英数字記号64文字以内で指定
		します。
パスワード	△ (*2)	認証サーバのパスワードを半角英数字記号64文字以内で指定
		します。指定した文字は、すべて*(アスタリスク)で表示さ
		れます。
POP設定(【認証タイプ】に【PC	P Before SMTP	指定時)
POPサーバ	△ (*3)	POPサーバ名またはIPアドレスを半角英数字記号128文字以
		内で指定します。
POPポート番号	0	POP3認証サーバのポート番号を半角数字5文字以内で指定し
		ます。1~65535の範囲が指定可能です。デフォルトでは、
		110(Well Known Port)が使用されます。

入力項目	入力必須	説明
POP認証後のメール送信待機時間	0	POP3認証後にメール送信を開始するまでの待ち時間(ミリ
		秒)を半角数字5文字以内で指定します。0~30000の範囲が指
		定可能です。10000ミリ秒を推奨します。
その他		
発信元E-Mail	0	発信元のメールアドレスを半角英数字記号128文字以内で指
		定します。
分割方式(*4)	-	分割方式を以下から選択します。
		- 分割なし
		- メール分割
		- イベント分割(デフォルト)
分割サイズ	△ (*5)	分割サイズを半角数字3文字以内で指定します。
		- [分割方式] で [メール分割] を選択した場合、10~100 KBの
		範囲で指定します。デフォルトは、64 KBです。
		- [分割方式] で [イベント分割] を選択した場合、64~512 KB
		の範囲で指定します。デフォルトは、512 KBです。

表 A.6 [環境詳細設定画面]での指定(続き)

*1: [認証タイプ] で [AUTH SMTP] を選択した場合に有効になります。

*2: [認証タイプ]で[認証なし]以外を選択した場合に必須です。

*3: [認証タイプ] で [POP Before SMTP] を選択した場合に必須です。

*4: 分割方式によって、選択できる暗号タイプが以下のように変わります。

- 分割なし:両方選択可能

- メール分割:従来形式のみ

- イベント分割:両方選択可能

*5: [分割方式]で[分割なし]以外を選択した場合に必須です。

A.2.3 接続先REMCSセンター

[CE操作メニュー] で [接続先REMCSセンター] を選択すると、図 A.14に示す [接続先REMCSセンターの 設定] が表示されます。 [接続先REMCSセンターの設定] では、[REMCSセンター] で [OSC] を選択します。

CEI操作メニュー 環境経動情報 接続先FRMCSセンター 日本語で発品の結素 装置名表示の切替え 個人情報別除 SSL証明書の表示 接続先センターリストの入れ替え	接続先REMCSセンターの設定 REMOSセンター OSC Y
REMCS CEメニューの終了	BR定 キャンセル
装置ID	運用中 インターネット接続(メールのみ)

図 A.14 接続先REMCSセンターの設定

A.2.4 日本語/英語切替え

[CE操作メニュー] で [日本語/英語切替え] を選択すると、図 A.15に示す [日本語/英語の切替え] が表示 されます。

[日本語/英語の切替え]では、表示する言語を指定します。

図 A.15 日本語/英語の切替え

CE操作メニュー 環境詳細情報 接続先FEMCSセンター 日本語/英語切替え 装置名表示の切替え 個人情報印除 SSL証明書の表示 接続先センターリストの入れ替え	日本語/英語の切替え ・ ・ ・ ・ ・ ・ 部 ・
<u>REMCS CEメニューの終了</u>	おたままであるというないである。
装置D	週日中 インターネット接続(メールのみ)

A.2.5 装置名表示の切替え

[CE操作メニュー] で [装置名表示の切替え] を選択すると、図 A.16に示す [装置ID/ユニーク名の切替え] が表示されます。

[装置ID/ユニーク名の切替え]では、状態表示フレームに表示する装置名(装置ID/装置ユニーク名)を 指定します。

図 A.16	装置ID/ユニー	・ク名の切替え
--------	----------	---------

C日象作メニュー 環境詳細情報 接続先FEMASセンター 日本語で次語む時え 装置名表示の切替え 個人情報則除 SSL証明書の表示 接続先センターリストの入れ替え	装置ID/ユニーク名の切替え ③装置ID表示 〇装置ユニーク名表示
<u>REMCS CEXニューの終了</u>	設定 キャンセル
装置ID	運用中 インターネット接続メールのみ)

A.2.6 個人情報削除

[CE操作メニュー] で [個人情報削除] を選択すると、図 A.17に示す [個人情報削除] が表示されます。 [個人情報削除] では、お客様情報に含まれる個人情報を削除する場合に、[削除] ボタンをクリックします。

C日操作メニュー 環境詳細情報	個人情報削除
<u>接続先REMCSセンター</u> 日本語/英語切替え	お客様情報に含まれる以下の個人情報(青字項目)の削除を行います。
装置名表示の切替え 個人情報削除	 法人名 法人名(力士)
SSL証明書の表示 接続先センターリストの入れ替え	部署名 ご住所
REMCS CEメニューの終了	ビル名称 管理者のお名前
	管理者のお名前(77)+) E-Mai(アドレス #275-54-9
	いた。 設置場所 設置場所のビル名称
	実施者ETMail
	削除キャンセル
装置ID	1 運用中 インターネット接続(メールのみ)

図 A.17 個人情報削除

A.2.7 SSL証明書の表示

[CE操作メニュー]で [SSL証明書の表示] を選択すると、図 A.18および図 A.19に示す [証明書の表示] が表示されます。

SSL証明書が存在する場合、図 A.18が表示されます。SSL証明書が存在しない場合、図 A.19が表示されます。

図 A.18 証明書の表示

(使用中の証	明書》
発行先 発行者 有効期限 拇印	: CN=REMCS Project, O=Fujitsu Limited, S=kanagawa, C=JP : CN=remcsproject, O=fujitsu, L=kawasaki city, S=kanagawa, C=JP : 2012/04/26 から 2032/03/29 : sha1 : 02AF6EDB 09A79523 7F1B2D36 80F51C74 0185B1E1 md5 : 91836CEF C0AC6BD8 F62A781F FB604895
公開キー 入替日	: RSA(2048 Bits) : -



CEI操作メニュー 理境詳細情報 対続大FRMCSセンター 日本語で描え 装置名表示の切替え 個人情報明瞭 SSL証明書の表示 注意先センターリストの入れ替え FEMCS CEメニューの経了	RMG_0229: SSL証明書が存在しません。 序5
 装置D	運用中 インターネット接続(メールのみ)

接続先センターリストの入れ替え A.2.8

[CE操作メニュー]で[接続先センターリストの入れ替え]を選択すると、図 A.20に示す[接続先センター リストの入れ替え]が表示されます。

[接続先センターリストの入れ替え]では、接続先REMCSセンターリストファイルを指定して登録します。

図 A.20 接続センターリストの入れ替え

<u>接続先REMCSセンター</u> 日本語/英語切替え	接続先センターリ	ストの入れ替え
<u>装置名表示の切替え</u> 個人情報削除 SSL証明書の表示	接続先センターリストファイルを指定してください。	
接続先ゼンターリストの入れ替え	ファイル名	
REMCS CEメニューの終了	登録	キャンセル
	and provide the second s	1.1.4.5474

